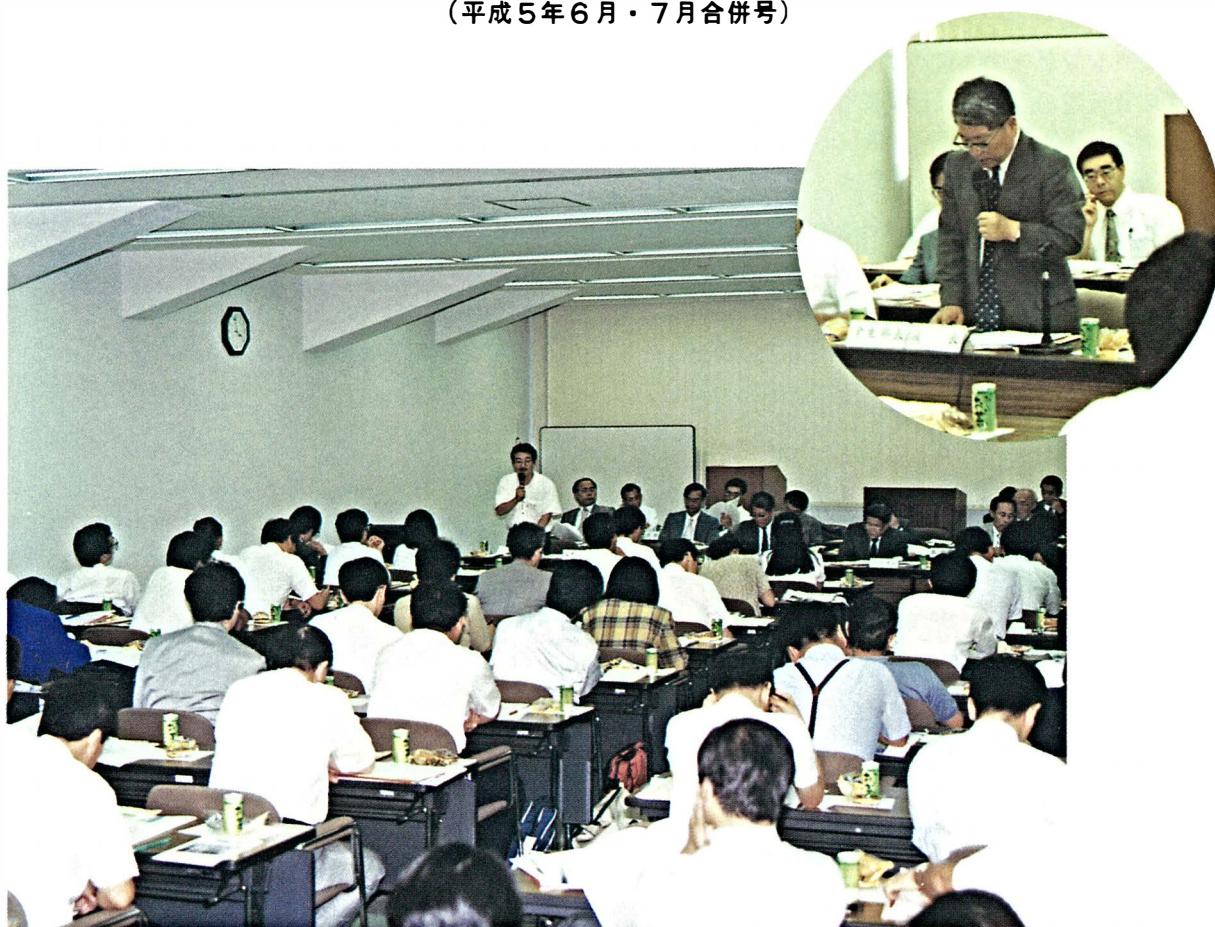




(題字 小黒千足 学長)

第343号

(平成5年6月・7月合併号)



△ 平成5年度高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会
(平成5年7月15日(木) 黒田講堂)

目 次

学 内 諸 報

- ◆ 平成5年度高等学校と富山大学との
入学試験に関する懇談会 3
- ◆ 「就職に関する講演会」を開催 3
- ◆ 日本学術会議第5常置委員会委員
「ヘルン文庫」視察 4
- ◆ タイ青年指導者代表団が来学 4
- ◆ 平成5年度富山大学永年勤続者の表彰 5
- ◆ 水素同位体機能研究センター長に松本
教授を再選 6
- ◆ 平成5年度富山大学公開講座 6
- ◆ 富山大学リカレント学習 9

学内トピックス

- ◆ 授業で演劇鑑賞 10
- ◆ 理学部カレンダーで高校生にPR 10
- ◆ 本学名誉教授の会等が総会を開催 11

人 事 異 動 12

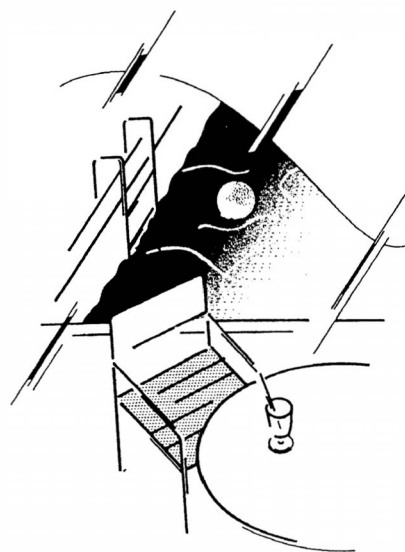
学 事

- ◆ 平成6年度富山大学入学者選抜要項
の発表 13
- ◆ 平成5年度科学研究費補助金の交付
決定 27
- ◆ 平成5年度富山大学国際交流事業基
金による各種事業の採択 31
- ◆ 平成5年度富山大学国際交流後援会
事業の採択 32
- ◆ 財団法人富山第一銀行奨学財団から
助成金 33

お 知 ら せ

- ◆ 他大学の自己点検評価報告書の供覧 34
- ◆ 「より良い授業を求めて」
—— 東京工業大学 —— 35

- 学 位 取 得 者 35
- 海 外 渡 航 者 36
- 関 係 法 令 37
- 諸 会 議 37
- 学 内 規 則 39
- 職 員 消 息 41
- 主 要 行 事 42



平成5年度高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会

高等学校の進路指導担当教諭との入学試験に関する懇談会が、去る7月15日(木)黒田講堂において開催されました。

この懇談会は、本学の入学試験や教育研究などについて理解を得ることを目的に開催されたもので、今年は富山県のほか石川、福井及び岐阜県の高校教諭と本学関係者合わせて約100名の出席により行われました。

特に、今年は4年一貫教育について各学部から詳細に説明がなされ、高校側からも本学に対して多くの要望等が寄せられ、当初予定した時間を超過して熱心に懇談が行われました。



「就職に関する講演会」を開催

去る5月26日(木)午後1時から経済学部201番教室において、本学4年次生を対象とした就職に関する講演会が開催されました。

講演会は、最初に浜谷学生部長から開会の挨拶が行われた後、(株)リクルート名古屋支社事業推進課の岡本結城氏から、「今年の就職戦線の状況と就職活動の進め方等について」と題し、厳しい今年の就職戦線の見通しと就職活動の際の自己分析の重要性、企業研究や面接のポイントから就職内定に至るまでのノウハウについて講演が行われ、次いで富山県教育委員会教職員課の織田睦夫氏から、「教員需給の現状と教職をめざす人に」と題し、教員の採用制度、今後の教員需給の見通しと本年度の教員採用選考検査の実施計画、さらに最近の現状等につい

て講演が行われました。

当日は、呉西地区で開催された企業合同就職説明会と日程が重なり、例年より学生の参加が少なかったものの、参加した学生達は熱心に聞き入り、各講演後の質疑応答には予定時間を越えて活発な意見交換等が行われ、盛況のうちに終了しました。

なお、学生の今後の就職活動等は、大学等関係団体及び企業関係団体で構成される就職協定協議会等における「平成5年度就職協定」により、①求人票の公示は7月1日、②採用選考開始は8月1日前後を目標として企業の自主的決定、③採用内定開始は10月1日との申し合わせにより進められます。



▲ 経済学部201番教室で行われた「就職に関する講演会」

日本学術会議第5常置委員会委員

— 『ヘルン文庫』視察 —

日本学術会議の第5常置委員会（委員長 猪瀬 博 学術情報センター所長）が、去る7月23日（金）富山市の富山県公文書館で開催されました。

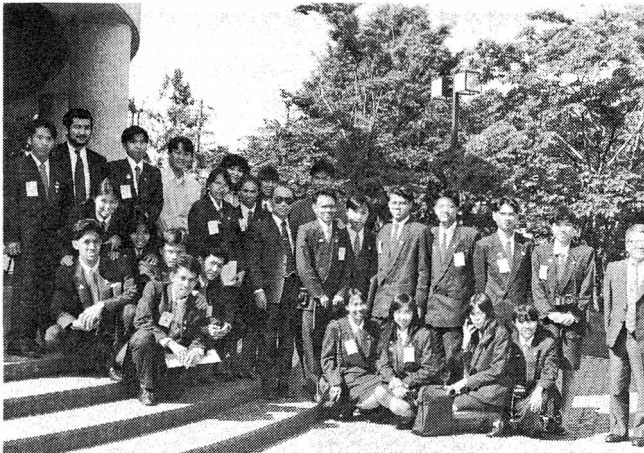
第5常置委員会は、学術情報・資料に関する事項を所管している関係から、上記会議終了後、本学附属図書館の「ヘルン文庫」を視察されました。

猪瀬委員長以下12名の委員と関係者8名、計20名の一行は、まず、附属図書館会議室で藤田館長から歓迎の挨拶、引き続いて本学及び附属図書館の概要説明を受けられました。次いで、平田元館長（人文学部教授）から、ラフカディオ・ハーンの生い立ち、更に世界の国々を流浪の後日本に帰化した経歴や業績など、また、ハーンの蔵書が現在富山大学に所蔵されている由縁についても詳細に説明されました。

この後、各委員は、ハーンについての様々な質問やハーンが残した蔵書も熱心に見、貴重な資料である「神国日本」の手書原稿の実物には感嘆の声も挙がっていました。



国際協力事業団招へいの タイ青年指導者代表団が来学



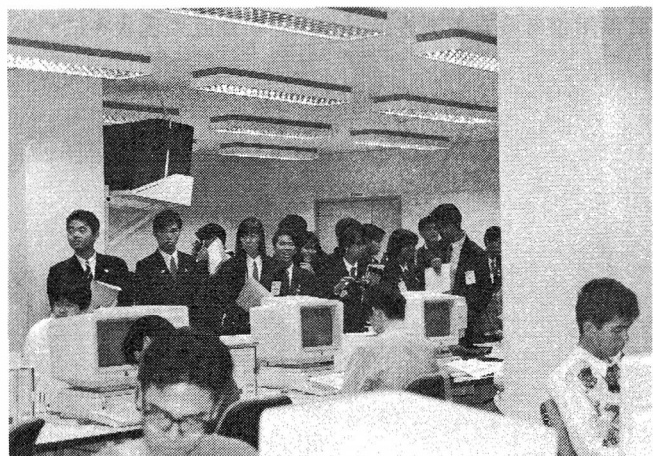
▲ 本学、黒田講堂前で記念撮影するタイ青年指導者代表団

国際協力事業団（協力団体；日本青年団協議会）の企画による、「21世紀のための友情計画」に基づき、日本を訪れているタイ青年指導者の代表団一行25名が5月25日から6月2日までの間富山県に滞在し、5月26日には本学を見学しました。

これは、先に来学したマレーシア学生代表団、韓国学生代表団に次いでので来訪です。

訪れた一行は、黒田講堂会議室において小黑学長から歓迎の挨拶を受けたのち、大学の概要について説明を聴き、また、その際には、本学工学部に在籍するタイからの留学生シリチャイテーウイン・エクさんも同席しました。

引き続き、学内施設の見学に移り、情報処理センターや地域共同研究センターなど各施設を見学し、活発な質問を行うなどしたのち予定時間をおよそ1時間ほど超過し午後5時すぎに本学を後にしました。



▲ 情報処理センターでパソコン操作の講義を見学

平成5年度

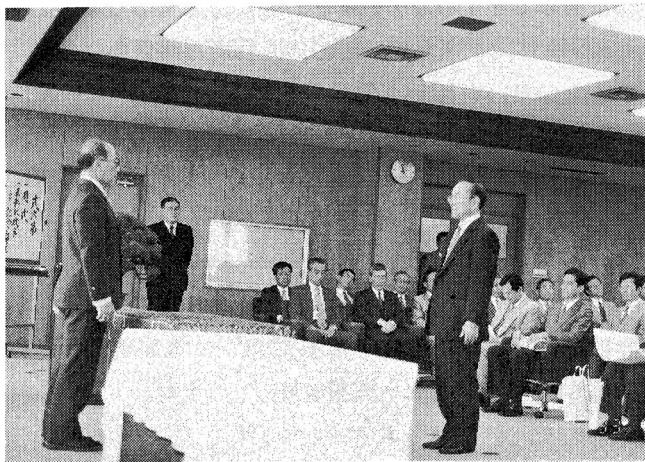
富山大学永年勤続者の表彰

— 35年勤続4名, 20年勤続18名 —

平成5年度富山大学永年勤続者表彰式が、去る5月31日(月)午前10時30分から事務局大会議室において行われました。

表彰式には各部局長等多数が列席し、35年勤続及び20年勤続の一人一人に、小黒学長から表彰状と記念品が贈られました。引き続き、小黒学長から「永年勤続をお祝い申し上げますとともに、その間の御苦勞に対して感謝いたします。今後とも本学の教育のため、また日本の教育のために御尽力いただきたい」との祝辞があり、これに対して被表彰者を代表して松本理学部長から謝辞が述べられました。

閉式後、事務局中会議室において、永年勤続者を囲み祝賀会が催され、永年の勞をねぎらわれるとともに和やかな雰囲気の中で終了しました。



▲ 被表彰者を代表して謝辞を述べる松本理学部長

なお、表彰された方々は、次のとおりです。

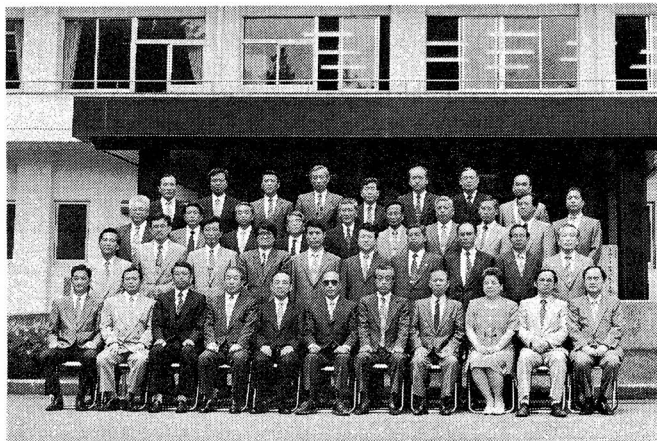
(35年勤続表彰)

人文学部	文部教官	提山淑郎
〃	文部事務官	清水麗子
理学部	文部教官	松本賢一
〃	文部教官	塩谷俊作

(20年勤続表彰)

教育学部	文部教官	観山雪陽
〃	文部教官	山地啓司
〃	文部教官	松川三郎
〃	文部教官	北村潔和
〃	文部教官	西川友之
〃	文部教官	安達勇作
〃	文部教官	沖田昭夫
〃	文部教官	齊藤昭
〃	文部事務官	北村均
経済学部	文部教官	中藤康俊
理学部	文部教官	井上弘憲
〃	文部教官	野口宗憲
工学部	文部教官	塩澤和章
〃	文部教官	上羽弘
〃	文部教官	佐々木基文
〃	文部教官	寺山清志
〃	文部教官	高井正三
水素同位体機能 研究センター	文部教官	松山政夫

以上



水素同位体機能研究センター長に 松本教授を再選



平成5年4月20日開催の水素同位体機能研究センター運営委員会において、水素同位体機能研究センター長の任期満了（平成5年6月7日）に伴う次期センター長の選考が行われました。その結果、現職の松本賢一センター長が再選されました。任期は、平成5年6月8日から2年間。

松本教授は、昭和28年3月名古屋大学理学部を卒業、同30年3月名古屋大学大学院理学研究科修士課程を修了、同33年3月大学院博士課程を修了の後、同年4月名古屋大学理学部助手に採用となり、同34年4月京都大学基礎物理学研究所助手、同39年7月金沢大学理学部助教授を

経て、同46年4月富山大学文理学部教授、同52年5月理学部教授、同62年4月から富山大学評議員に併任、平成3年4月から理学部長（現在2期目）、同3年6月から水素同位体機能研究センター長に就任し、現在に至っています。

専門は素粒子論，理学博士，愛知県出身。

（就任の抱負）

本センターは、化学燃料としての水素の優れた特長と核融合炉用燃料としての三重水素（トリチウム）の特性を有効かつ安全に引き出すための研究を行う機関です。そして、学内共同利用施設として、また、日本の核融合研究ネットワークの特色ある拠点として、基礎から応用にわたる幅広い領域の研究が共同利用者並びに専任スタッフの協力により活発に行われています。

この2年間、全学的協力を得て本センターの発展のために努めてきましたが引続き、その責を果たしたいと思えます。本センターの一層の共同利用と関係各位の御力添えをお願い申し上げます。

平成5年度富山大学公開講座

平成5年度公開講座は、次のとおり一般講座1講座、実技講座1講座及びスポーツ講座1講座（5コース）が実施されます。

1. 一般講座

「脳と心」

（趣 旨） 近年、脳の研究に関する関心が高まり、いろいろなところに波紋を投げかけてきている。研究者の層が増えるとともに、これに関する成果も増えると同時に、深みを増してきている。脳の生理学的研究にはじまり、心理学、工学の分野からのアプローチがなされている。今日までの脳に関する分野の知見を各専門家によりわかりやすく解説する。

（開設期間） 平成5年9月18日(土)～10月30日(土)

（開設日数・時間帯） 7日間 毎週土曜日 14:00～16:00（9月18日については、14:00～17:00）

（募集人員） 50名

（会場） 富山大学黒田講堂

（講習料） 5,090円（今年度は、受講生に対し受講料の全額が、財団法人富山県高等教育振興財団から助成されます。）

(講座の内容)

回数	期 日	講 座 題 目	所 属 ・ 職 名	講 師 氏 名
1 回	9 月 18 日 (土)	脳 の 機 能 に つ い て	工 学 部 助 教 授	佐 々 木 和 男
2 回	9 月 25 日 (土)	右 脳 と 左 脳 の 働 き	人 文 学 部 教 授	海 老 原 直 邦
3 回	10 月 2 日 (土)	日 常 生 活 と 脳 の 活 動	教 育 学 部 助 教 授	神 川 康 子
4 回	10 月 9 日 (土)	脳 と ニ ュ ー ロ コ ン ピ ュ ー タ	工 学 部 助 教 授	袋 谷 賢 吉
5 回	10 月 16 日 (土)	フ ァ ジ ー 理 論 と 人 間 思 考	経 済 学 部 教 授	中 島 信 之
6 回	10 月 23 日 (土)	子 供 の 心 と 脳 の 働 き	教 育 学 部 助 教 授	室 橋 春 光
7 回	10 月 30 日 (土)	脳 死 と 人 の 死	人 文 学 部 教 授	岡 村 信 孝

- (備 考) ① 本講座を修了した方には、富山大学から修了証書を授与します。
 ② 本講座は県民カレッジと連携しています。また、本講座の修了者は希望により、県民カレッジの単位が認定されます。

2. 実技講座

「ハイパーメディア体験講座－教育的可能性を探る－」

(趣 旨) 情報技術のめざましい進歩は、私たちの日常生活から社会や文化まで様々な形で影響を及ぼしている。本講座では、最先端メディア技術の一つであるハイパーメディアについて体験的学習を通して理解するとともに、その教育的可能性について考える。また、今後の在り方並びに望ましい情報化社会の在り方について考える。

(開 設 期 間) 平成 5 年 9 月 2 日 (木)～9 月 20 日 (月)

(開設日数・時間帯) 6 日間 毎週月、木曜日 18:00～20:30

(募 集 人 員) 20 名

(会 場) 富山大学教育学部附属教育実践研究指導センター

(講 師) 教育学部教授 山西潤一 教育学部教授 穴山 彊

(講 習 料) 5,090円 (今年度は、受講生に対し講習料の全額が、(財)富山県高等教育振興財団から助成されます。)

- (備 考) ① 本講座を修了した方には、富山大学から修了証書を授与します。
 ② 本講座は県民カレッジと連携しています。また、本講座の修了者は希望により、県民カレッジの単位が認定されます。

3. スポーツ講座

「健康・スポーツ教室」(ジョギング・ランニング、硬式テニス(初心者、初級者)、バドミントンコース)

(趣 旨) 市民の健康・スポーツに対する関心を高め普及するため、ジョギング・ランニング、硬式テニス、バドミントンを選んで、それぞれ専門的な理論、実技の指導を行う。

(開設コース・募集人員)

開設コース名	募集人員
ジョギング・ランニングコース	20 名
硬式テニスコース	初心者 20 名 初級者 20 名
バドミントンコース	30 名

(注) 硬式テニスコートの初心者は、初めてラケットをもつ人で、初級者は、ダブルスゲームが少しできる程度の人である。

(開 設 日 程)

コース	月 日	8 / 18 (木)	20 (金)	23 (月)	25 (水)	27 (金)	30 (月)	9 / 1 (水)	3 (金)	4 (土)
ジョギング・ランニングコース		18:00～20:00 2時間							16:00～20:00 4時間	

コース	月 日	7 / 16 (金)	17 (土)	18 (日)	19 (月)	20 (火)
硬式テニス(初心者)		18:00～21:00 3時間				
コース	月 日	12 / 23 (水)	24 (金)	25 (土)	26 (日)	27 (月)
硬式テニス(初級者)		18:00～21:00 3時間				

コース	月 日	9/21(火)	24(金)	28(火)	10/1(金)	5(火)	8(金)
バドミントンコース		18:00~20:30			2時間30分		

- (会 場) ・ジョギング・ランニングコース 空港スポーツ緑地陸上競技場他
 ・硬式テニスコース 富山大学軟式テニスコート
 富山大学第1体育館
 ・バドミントンコース 富山大学第2体育館
- (講 習 料) ・ジョギング・ランニングコース 6,100円
 ・硬式テニスコース 各5,090円
 ・バドミントンコース 5,090円

(講 座 内 容)

【ジョギング・ランニングコース】 教育学部教授 山 地 啓 司

ウォーミングアップの方法, トレーニング方法とスケジュールの作り方, 走り方, コースの選定方法, シューズの選び方, レースへの参加と準備の進め方等について

【硬式テニスコース】 教育学部助教授 北 村 潔 和 教育学部講師 鳥 海 清 司

テニスの基本技術とダブルスゲームのしかた

【バドミントンコース】 教育学部教授 福 田 明 夫 教育学部講師 水 谷 秀 樹

バドミントンの基本知識を理解し基本的技術を身につける

- (備 考) ① 本講座を修了した方には, 富山大学から修了証書を授与します。
 ② 本講座は県民カレッジと連携しています。また, 本講座の修了者は希望により, 県民カレッジの単位が認定されます。

「健康・スポーツ教室」(ゴルフコース)

- (趣 旨) 学校の教職員にゴルフの専門的な理論, 実技の指導を行い, ゴルフに対する関心や理解を深め, ひろく普及を図る。

(開設コース・募集人員)

開設コース名	募集人員
ゴルフコース	20名

(開 設 日 程)

コース	月 日	8/23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	31(火)
ゴルフコース		7:00~9:00			2時間		7:00~12:00 5時間

- (講 師) 教育学部助教授 西 川 友 之
 教育学部助教授 大 川 信 行
 呉羽カントリークラブ所属プロ 鑑 田 茂

(講座の内容) ゴルフの基本技術と実践

- (備 考) ① 受講生は, 練習場使用料, コース料及び保険料として15,000円程度が自己負担となります。
 ② 本講座を修了した方には, 富山大学から修了証書を授与します。
 ③ 本講座は県民カレッジと連携しています。また, 本講座の修了者は希望により, 県民カレッジの単位が認定されます。

平成5年度
富山大学リカレント学習コース
『オフィス・ワーカーのための経営科学』

- (趣 旨) 富山大学では、社会人・職業人を対象としたハイレベルの学習講座「オフィス・ワーカーのための経営科学」を開講します。
- この講座は、今日の産業構造や就業構造などの急激な変化や急速な技術革新に対応するため、高度で実践的な学習の機会が求められており、このような社会的なニーズに応えるため、本学の施設と教職員により学習の機会を提供するものです。
- リカレント(RECURRENT)は『回帰』を意味します。「リカレント学習」は、すでに学校教育を終えられて社会で活躍されている社会人・職業人が最新の知識や高度な技術の習得を求め、旺盛な学習意欲に燃えて、再び教育の場に戻って学習されることを意味します。
- この学習コースは、文部省から富山地域リカレント教育推進協議会が委嘱を受けて実施されるものです。
- (学 習 コー ス) 経営科学(Management Science)は、経営管理上の問題に対する解答を科学的に見出すための原理と手法を提供する。この経営科学の主要な部分の一つがOR(オペレーションズ・リサーチ)である。本コースでは、経営科学を実際の経営上の意思決定のためにどのように用いるかを具体的に紹介し、コンピューターによる情報処理実習・結果の分析を通して、適用方法を習得する。
- (開 設 期 間) 平成5年9月6日(月)～9月29日(水)までの間の10日間
- (会 場) 富山大学情報処理センター
- (募 集 人 員) 20人
- (受 講 料) 10,000円(なお、実費として教材費5,000円程度徴収します。)
- (申 込 期 間) 平成5年8月2日(月)～8月31日(火)
- (申 込 先) 庶務部庶務課
- (そ の 他) 所定の時間を受講した場合は、修了証書を交付します。

学習コース日程

回	日 時	講 義・実習テーマ	講 師(職・氏名)	時間数
1	9. 6(月) 18:00～21:00	経営計画とその手法(1) － 計量経済分析 －	経済学部助教授 瀧 敦弘	3
2	9. 8(水) 18:00～21:00	経営計画とその手法(2) － 時系列分析 －	経済学部助教授 飯野 正幸	3
3	9. 10(金) 18:00～21:00	計量経済分析・時系列分析実習 － UNIXワークステーション使用したモデル分析 －	経済学部助教授 瀧 敦弘 経済学部助手 上木 佐季子	3
4	9. 13(月) 18:00～21:00	コンピュータ・シミュレーションによる総合的意思決定 － DSSの実際 －	経済学部助教授 太田 雅晴	3
5	9. 17(金) 18:00～21:00	ゲーム理論 － 競争の場での決定 －	経済学部教授 菊田 健作	3
6	9. 20(月) 18:00～21:00	数理計画法 － 線形計画法/非線形計画法 －	経済学部助教授 白石 俊輔	3
7	9. 22(水) 18:00～21:00	数理計画法の計算機実習 － LP, SAS －	工学部助手 高井 正三 経済学部助手 上木 佐季子	3
8	9. 24(金) 18:00～21:00	プロジェクト管理 － CPM/PERT －	経済学部教授 菊田 健作	3
9	9. 27(月) 18:00～21:00	プロジェクト管理計算機実習 － CPM/PERT －	経済学部助手 上木 佐季子 工学部助手 高井 正三	3
10	9. 29(水) 18:00～21:00	ファジィ理論 － ファジィ理論と経済学 －	経済学部教授 中島 信之	3
計 10 回				計30時間

学内トピックス ①

〇 〇 授業で演劇鑑賞 〇 〇

— 39名の学生、演劇で表現方法を学ぶ —

教養教育の「言語表現科目」では「客観的な事実、自分の感じたこと、考えたことを的確な言語を用いて表現する能力」の向上を目指しておりますが、同科目担当の教育学部 宇井啓高教授は、学生達に生の表現方法を学んでもらおうと、6月23日(水)教育学部会議室で、劇団文芸座が演じる「授業」(ウージェヌ・イヨネスコ作)の鑑賞を実施しました。

鑑賞後は、劇団員による台詞の講義も受け、学生達は練達した演技に直接触れる一方、そこから得られる表現力の重要性を学びました。

なお、この「言語表現科目」では、ほかにアナウンサーや新聞記者などによる講義も行われています。



▲ 「言語表現科目」の講義で「授業」の演劇を熱心に鑑賞する学生達

学内トピックス ②

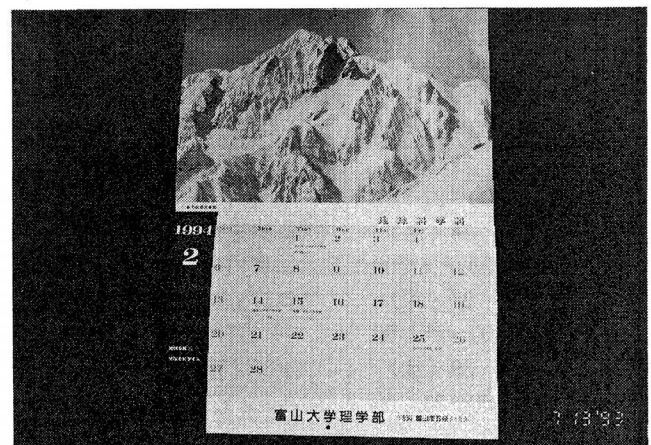
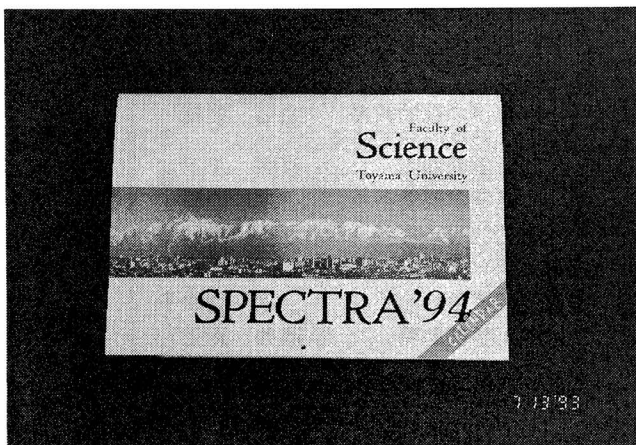
理学部カレンダーで高校生にPR

理学部では、例年受験生用のパンフレットを作っていますが、いまの高校生には、まず「視覚に訴えることが第一」との考えから、今年は色彩効果満点のカレンダーによる学部PR版を発行。

表紙には立山連峰を配し、これに四色の光を当て四季の移り変わりを表わし、また、10月から来年3月までのカレンダーには推薦入学関係や入試センター試験、前期

日程及び後期日程試験などが日を追って記載されているほか、月毎に順次同学部の各学科を紹介。受験生は、カレンダーとして使えるほかこれからの受験計画表としても利用が可能。

理学部では、このカレンダーを各高校に送付したほか、大学説明会の際にも配布して、同学部のPRに務めています。



学内トピックス ③

本学職員OB会開催

平成5年度富山大学名誉教授の会総会

平成5年度富山大学名誉教授の会総会が、去る7月11日(日)午前11時から富山市内の海老亭本館で開催されました。

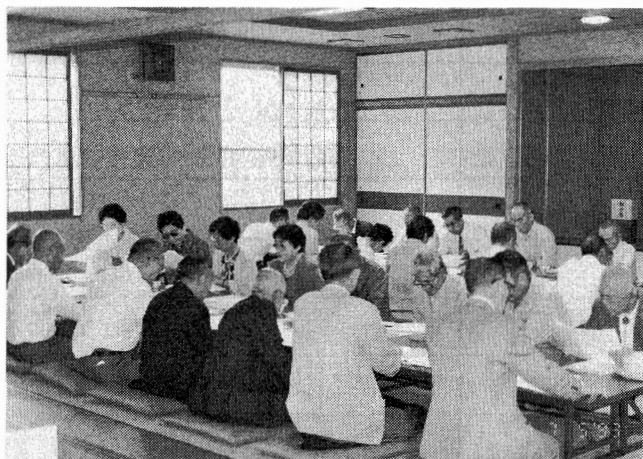
総会には、11名の名誉教授の出席があり、また新入会員(吉田 清, 大谷重彦, 藤井昭二の3氏)が紹介され、引き続き物故会員(佐々木龍作, 山口政則の2氏)の御逝去の報告がありました。

次いで、平成4年秋、5年春の叙勲で受章の栄誉を受けられた四谷平治氏, 梅原隆章氏に対して、祝意が表明されました。

引き続き、会務報告等が行われた後、懇親会が行われ、出席名誉教授の近況が語り合われる等して親しく懇談されました。



平成5年度富山大学温窓会総会



本学事務系職員のOB会「温窓会」の平成5年度総会が、去る7月5日(月)午後2時から本学職員会館で開催されました。

総会には、桜井雅楽会長外会員32名が出席され、会務

報告、予算・決算等の審議が行われた後、役員改選が行われ、森田 弘氏が新会長に選出されました。また大学側から渡邊庶務課長が出席し、本学の近況等について報告がありました。

引き続き、80才の長寿祝(若林俊吉, 北角正雄の2氏)の記念品が贈呈された後、懇親会が行われ、旧交を温められました。



人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	5. 7. 1	小田 晃規	助 手 (工学部)	
昇 任	5. 7. 1	小林 一三	新潟大学庶務部人事課長	庶務部長
配 置 換	5. 7. 1	佐竹 良夫	庶務部長	岐阜大学庶務部長
併 任	5. 6. 8	松本 賢一	教 授 (理学部)	水素同位体機能研究センター長 (~7. 6. 7)
辞 職	5. 6. 30	青木 茂徳	文部事務官 (工学部)	辞職を承認する
転 任	5. 7. 16	河西 義一	富山医科薬科大学 総務部庶務課文書法規係長	庶務部人事課職員係長
	"	堀 和實	富山医科薬科大学業務部医事課収入係長	入試課入学試験係長
	"	藤井 秀春	文部事務官 (富山医科薬科大学教務部学生課)	文部事務官 (経済学部)
	"	杉森 伸平	入試課入学試験係長	富山医科薬科大学総務部主計課管財係長
	"	作井 功	経済学部庶務係庶務主任	富山医科薬科大学 総務部庶務課庶務係庶務主任
配 置 換	5. 7. 16	羽根 俊	工学部専門職員	庶務部庶務課専門職員 (研究協力担当)
	"	土肥 隆三	庶務部庶務課専門職員	庶務部企画室専門職員 (自己点検評価担当)
	"	前田 邦樹	工学部庶務係長	工学部専門職員 (研究協力担当)
	"	保正 邦久	学生課総務係長	庶務部庶務課庶務係長
	"	杉本 周平	庶務部人事課職員係長	学生課総務係長
	"	雁田 彰	庶務部庶務課庶務係長	工学部庶務係長
退 職	5. 7. 24	林 敏和	事務補佐員 (附属図書館)	平成 5 年 7 月 23 日 限り 退職 した
	"	中村 繁之	" (")	"
	"	高越 義一	" (")	"
	"	杉森真希子	" (")	"
	"	山田 智恵	" (")	"
	"	松岡 弘二	" (")	"
	5. 8. 1	平井 徹	技術補佐員 (経理部主計課)	平成 5 年 7 月 31 日 限り 退職 した
	"	西野 英克	" (")	"
	"	山本憲一郎	" (")	"
	"	浅井 康広	" (")	"
併 任	5. 8. 1	森田 昌夫	文部技官 (工学部)	施設課 (~6. 3. 31)
職務命令	5. 7. 16	羽根 俊	工学部専門職員	研究協力担当を免ずる
	"	土肥 隆三	庶務部庶務課専門職員	研究協力担当を免ずる

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
職務命令	5. 7. 16	藤井 伸市	用務員（経済学部作業員）	経済学部作業員長を命ずる
昇 任	5. 8. 1	酒井 英男	助 手（理学部）	助教授（理学部）
休 職	5. 7. 26	前田あけみ	助教授（教育学部）	休職の期間を平成6年1月4日まで更新する
辞 職	5. 7. 31	西山 裕子	助 手（経済学部）	辞職を承認する
併 任	5. 8. 1	中藤 康俊	教 授（経済学部）	評議員（～7. 7. 31）
	”	小島 満	”（ ” ）	”（ ” ）



平成6年度

富山大学入学者選抜要項の発表

平成6年度入学者選抜要項を去る7月6日(火)に発表しました。昨年度との変更点及び入学者選抜要項の概要は、以下のとおりです。

昨年度との変更点

1. 一般選抜について

(1) 実施方式について

平成6年度入試では変更がないこと。

なお、平成7年度入試から教育学部中学校教員養成課程が、分離分割方式に変更することを予告。

（現行：連続方式A日程）

(2) 日程ごとの募集人員について

① 人文学部の学科改組により、3学科の日程別募集人員を定めたこと。

② 教育学部情報教育課程では、これまで課程単位に募集人員を発表していたが、今年度から2コース別に募集人員を発表することにしたこと。

③ 理学部に新しく生物圏環境科学科ができたことにより、当該学科の日程別募集人員を定めたこと。

(3) 日程ごとの入学者選抜方法等について

① 前期日程

理学部生物圏環境科学科の「入学者選抜方法の実施教科・科目」を定めたこと。

② 後期日程

ア 経済学部「夜間主コース」で、新たに外国語（英語）を課すことにしたこと。

イ 理学部数学科で、新たに面接を課すことにしたこと。

ウ 理学部生物圏環境科学科の「入学者選抜方法の実施教科・科目」を定めたこと。

エ 工学部化学生物工学科で、新たに面接を課すことにしたこと。

③ 日程毎の個別学力検査期日について

ア 理学部生物圏環境科学科の「入学者選抜方法の実施教科・科目」を定めたこと。

イ 後期日程の検査期日を、平成6年3月12日(出)に変更したこと。

（去年は、3/15）

対 象：教育学部（小学校・養護学校・幼稚園教員養成課程，情報教育課程）

経済学部，理学部（数学科，化学科），工学部化学生物工学科

[参考]・前期日程，A日程：平成6年2月25日(金)（昨年と同じ）

(4) 日程ごとの入学者選抜の実施教科・科目等について

① 前期日程・A日程

ア 教育学部中学校教員養成課程で，実技検査（音楽実技）の内容の一部を変更した。

イ 理学部生物圏環境科学科の「入学者選抜方法の実施教科・科目」を定めたこと。

（再掲）

② 後期日程

ア 理学部数学科で，新たに面接を課すことにしたこと。（再掲）

イ 理学部生物学科で，大学入試センター試験の受験を要する科目の理科に新たに生物を加えたこと。

ウ 理学部生物圏環境科学科の「入学者選抜方法の実施教科・科目」を定めたこと。

（再掲）

エ 工学部化学生物工学科で，新たに面接を課すことにしたこと。（再掲）

(5) 日程ごとの大学入試センター試験及び個別学力検査の配点について

① 前期日程

理学部生物圏環境科学科の配点を定めたこと。

② 後期日程

ア 経済学部「夜間主コース」で，配点の一部を変更したこと。

イ 理学部数学科で，配点の一部を変更したこと。

ウ 理学部生物圏環境科学科の配点を定めたこと。

エ 工学部化学生物工学科で，配点の一部を変更したこと。

2 推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜について

(1) 推薦入学

① 人文学部の学科改組により，3学科別の募集人員を定めたこと。

② 教育学部中学校教員養成課程の3専攻（数学，保健体育，技術）で，新たに推薦入学（各2人）を導入したこと。

③ 教育学部情報教育課程では，これまで課程単位で募集人員を発表していたが，今年度から2コース別に募集人員を発表することにしたこと。

④ 経済学部「昼間主コース」の職業科を対象とした1高校当たりの推薦数の基準を，入学定員300人から250人に変更。

⑤ 理学部生物圏環境科学科で，新たに推薦入学（5人）を導入したこと。

(2) 社会人特別選抜

理学部物理学科及び生物圏環境科学科で，新たに特別選抜（若干名）を導入したこと。

(3) 帰国子女特別選抜

理学部生物圏環境科学科で，新たに特別選抜（若干名）を導入したこと。

(4) 私費外国人留学生特別選抜

教育学部で，「本学が実施する学力検査等」に面接を加えたこと。

3 そ の 他

(1) 学生募集要項等の請求方法

郵便で請求する場合は，「角形2号」の大きさの返信用封筒を送ることに変更。

(2) テレホンサービスの内容の充実

これまで，1月の出願状況速報から実施していたサービスを拡大し，「選抜要項の請求方法」，「大学説明会の開催案内」など項目を増やしたもの。

平成6年度富山大学入学者選抜要項（抜粋）

1. 学部、学科・課程及び入学定員

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員			募集人員に含まれる 特別選抜の募集人員
				前期日程	後期日程	A日程	
人文学部	人文学科		70	55	15		〔前期日程〕推薦入学(5人), 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	国際文化学科		40	30	10		〔前期日程〕推薦入学(3人), 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	言語文化学科		95	70	25		〔前期日程〕推薦入学(7人), 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	計		205	155	50		
教育学部	小学校教員養成課程		100	70	30		
	中学校教員養成課程		50			50	〔A日程〕推薦入学(12人…数学, 理科, 美術, 保健体育, 家庭及び技術の各専攻2人)
	養護学校教員養成課程		20	14	6		
	幼稚園教員養成課程		30	21	9		
	情報教育課程	教育情報コース	24	18	6		〔前期日程〕推薦入学(6人)
		環境情報コース	16	12	4		〔前期日程〕推薦入学(4人)
		小計	40	30	10		
	計		240	135	55	50	
経済学部	昼間主コース	経済学科	159	126	33		〔前期日程〕推薦入学(30人), 帰国子女特別選抜(若干名)
		経営学科	124	98	26		
		経営法学科	102	81	21		
		小計	385	305	80		
	夜間主コース	経済学科	20	16	4		〔前期日程〕推薦入学(20人), 社会人特別選抜(20人程度)
		経営学科	20	15	5		
		経営法学科	20	15	5		
		小計	60	46	14		
計		445	351	94			
理学部	数学科		53	46	7		〔前期日程〕推薦入学(16人), 帰国子女特別選抜(若干名)
	物理学科		47	37	10		〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	化学科		38	30	8		〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	生物学科		40	33	7		〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	地球科学科		32	27	5		〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	生物圏環境科学科		30	25	5		〔前期日程〕推薦入学(5人), 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	計		240	198	42		
工学部	電子情報工学科		132	105	27		〔前期日程〕推薦入学(18人)
	機械システム工学科		101	80	21		〔前期日程〕推薦入学(13人)
	物質工学科		83	66	17		〔前期日程〕推薦入学(12人)
	化学生物工学科		86	68	18		〔前期日程〕推薦入学(12人)
	計		402	319	83		
合計		1,532	1,158	324	50		

2. 平成6年度富山大学入学者選抜方法等

(1) 一般選抜（前期日程・A日程）

(3-1)

選抜方法等 学部・学科名		個別学力検査等						定員一部留保第2次募集				個別学力検査等の日程	備 考 (欠員の補充の方法等)		
		実技検査等			2段階選抜			実技検査等							
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	その他	個別学力検査を課する	実技検査を課する			面接を行う	小論文を課する
人文学部	人文学科													2 月 25 日 (金)	欠員補充の方法等は、10月上旬頃に発表予定の学生募集要項に記載する。
	国際文化学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	言語文化学科														
教育学部	小学校教員養成課程														
	養護学校教員養成課程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	幼稚園教員養成課程														
学部	中学校教員養成課程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	国語, 社会, 数学, 理科, 家庭, 技術, 英語専攻														
経済学部	昼間コース														
	経済学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	経営法学科														
学部	夜間コース														
	経済学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	経営法学科														
理学部	数学科														
	物理学科														
	化学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	生物学科														
	地球科学科														
工学部	生物圏環境科学科														
	電子情報工学科														
	機械システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	物質工学科														
工学部	化学生物工学科														

参考 1. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)

2. 個別学力検査等の日程は、教育学部中学校教員養成課程(連続方式A日程)を除き、分離・分割方式前期日程である。

(2) 一般選抜 (後期日程)

(3-2)

選抜方法等 学部・学科名		個別学力検査等						定員一部留保第2次募集			個別学力検査等の日程	備 考 (欠員の補充の方法等)		
		実技検査等			2 段 階 選 抜			入学定員の一部についてあらかじめこれを留保し、これについて第2次募集を行う						
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数		個別学力検査を課する	実技検査等			第2次募集人員	
定員に対する倍率	その他						実技検査を課する	面接を行う		小論文を課する				
人文学部	人文学科													
	国際文化学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	言語文化学科													
教育学部	小学校教員養成課程													
	養護学校教員養成課程	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	幼稚園教員養成課程													
	情報教育課程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
経済学部	昼間主コース	経済学科												
		経営学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		経営法学科												
	夜間主コース	経済学科												
		経営学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		経営法学科												
理学部	数 学 科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	物 理 学 科													
	生 物 学 科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	地 球 科 学 科													
	生物圏環境科学科													
	化 学 科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
工学部	電子情報工学科													
	機械システム工学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	物質工学科													
	化学生物工学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

3 月 12 日 (土)
欠員補充の方法等は、10月上旬頃に発表予定の学生募集要項に記載する。

参考 1. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)
 2. 個別学力検査等の日程は、分離・分割方式後期日程である。

(3) 特別選抜

(3-3)

選抜方法等 学部・学科名		推 薦 入 学						帰国子女, 社 会人等のた めの特別選 抜			備 考		
		入学定員の一部について, 出身学校長の推薦に基づき, 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。						推 薦 入 学 募 集 人 員	帰 国 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女		社 会 人	
		個別学力検査を免除し, 大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学 入試センター試験を免除 する	実 技 検 査 等			そ の 他						
実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う			小 論 文 を 課 す る									
人文学部	人文学科						5人						
	国際文化学科	○	×	×	×	○	×	3人	○	×		○	
	言語文化学科							7人					
教育学部	小学校教員養成課程											中学校教員養成課程(数学専攻)推薦入学について ① 面接には, 基礎学力に関する試問を含む。 ② その他として, 簡単なテスト(数学)を課す。	
	養護学校教員養成課程	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	幼稚園教員養成課程												
	中学校教員養成課程	国語, 社会, 音楽, 英語専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×
		数学専攻	×	○	×	○	×	○	2人	×	×		×
		理科専攻							2人				
		家庭専攻	×	○	×	○	○	×	2人	×	×		×
		技術専攻							2人				
	課程情報教育	美術専攻	×	○	○	○	×	×	2人	×	×		×
		保健体育専攻							2人				
経済学部	昼間主コース	経済学科											
		経営学科	×	○	×	○	○	×	30人	○	×		×
		経営法学科											
	夜間主コース	経済学科											
		経営学科	×	○	×	○	○	×	20人	×	×		○
理学部	数学	数学科	×	○	×	○	×	×	16人	○	×	×	数学科推薦入学について 面接には, 数学的思考力をみるための検査を含む。 生物圏環境科学科推薦入学について ① 面接には, 基礎学力に関する試問を含む。 ② その他として, 簡単なテスト(化学)を課す。
		物理学科											
	化学	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		
	生物												
	地球科学	×	○	×	○	×	○	5人	○	×	○		
工学部	電子情報工学科	電子情報工学科						12人				推薦入学について ① 面接には, 基礎学力に関する試問を含む。 ② その他として, 簡単なテスト(英語及び数学)を課す。 ③ 各学科の募集人員欄中, 上段は普通科・理数科を, また, 下段は専門教育を主とする学科(工業)を対象とした募集人員をそれぞれ示す。	
		機械システム工学科						6人					
		物質工学科	×	○	×	○	○	○	9人	×	×		×
		化学生物工学科							4人				
									8人				

参考 1. 調査書に㊸標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)
2. 推薦入学の募集人員は, 前日程及びA日程の募集人員に含まれる。

3. 平成6年度富山大学入学選抜の実施教科・科目等

(1) 前期日程・A日程

(5-1)

入学志願者に解答させる教科・科目等 (学科, 課程, 専攻等) 名		選抜の対象	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の利用方法	その他
人文学部	人文学科	前期日程に係る一般選抜の全部	5教科5科目 国(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) (注1) 社(数I) 理(物, 化, 生, 地学, 理Iから1) (注3) 外(英, 独, 仏から1)	国(国語I, 国語II) 外(英語II・英語II B), ドイツ語, 朝鮮語, 中国語, ロシア語から1)	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は, 本要項の5(11ページ)を参照すること。なお, 人文学部の推薦入学にあっては, 13ページを参照すること。	教育学部の実技検査の内容については, 本要項4(10ページ)を参照すること。
	国際文化学科					
人文学部	言語文化学科	推薦入学 (入学定員205人中15人)	3教科3科目 国(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) (注1) 社(英, 独, 仏から1)	小論文	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は, 本要項の5(11ページ)を参照すること。なお, 人文学部の推薦入学にあっては, 13ページを参照すること。	教育学部の実技検査の内容については, 本要項4(10ページ)を参照すること。
	国際文化学科					
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程 情報教育課程 (教育情報コース, 環境情報コース)	前期日程に係る一般選抜の全部	5教科6科目 国(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) (注1) 社(「数I」と「数II, 工, 簿から1」) (注2) 理(物, 化, 生, 地学, 理Iから1) (注3) 外(英, 独, 仏から1)	国(国語I, 国語II), 数(代数・幾何, 基礎解析), 外(英語II・英語II B) から1	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は, 本要項の5(11ページ)を参照すること。なお, 人文学部の推薦入学にあっては, 13ページを参照すること。	教育学部の実技検査の内容については, 本要項4(10ページ)を参照すること。
	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 数学, 理科, 家庭, 技術, 英語専攻)					
教育学部	中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)	A日程に係る一般選抜の全部	課さない	志望専攻の実技	2. 大学入試センター試験の「理科」については, (注4)を参照すること。	教育学部の実技検査の内容については, 本要項4(10ページ)を参照すること。
	中学校教員養成課程 (美術, 保健体育専攻)					
学部	数学専攻	推薦入学 (入学定員50人中各専攻2人)	課さない	簡単なテスト(数学) 面接(基礎学力に関する試問を含む。)	2. 大学入試センター試験の「理科」については, (注4)を参照すること。	教育学部の実技検査の内容については, 本要項4(10ページ)を参照すること。
	理数, 家庭, 技術専攻					
	環境教育課程					
学部	情報教育課程	推薦入学 (入学定員24人中6人)	課さない	小論文	2. 大学入試センター試験の「理科」については, (注4)を参照すること。	教育学部の実技検査の内容については, 本要項4(10ページ)を参照すること。
	環境情報コース					
学部	環境情報コース	推薦入学 (入学定員16人中4人)	課さない	小論文	2. 大学入試センター試験の「理科」については, (注4)を参照すること。	教育学部の実技検査の内容については, 本要項4(10ページ)を参照すること。
	環境情報コース					

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。
 注2. 「工業数理」又は「簿記会計I・簿記会計II」を選択解答できる者は, 高等学校において「工業数理」又は「簿記会計I・簿記会計II」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。
 注3. 「理科I」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。
 注4. 大学入試センター試験の「理科」について, 複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。
 注5. 個別学力検査等の日程は, 教育学部中学校教員養成課程(連続方式A日程)を除き, 分離・分割方式前期日程である。なお, 推薦入学の入学定員は, 当該日程の募集人員に含まれる。

(5-2)

学部(学科, 課程, 専攻等)名	入学志願者に解答させる教科・科目名等	選抜の対象	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の利用方法	その他
経済学部	昼間主	前期日程に係る一般選抜の全部	5教科6科目 国(倫, 日, 世, 地理, 現社から1)(注1) 社数(「数I」と「数II, 工, 簿から1」)(注2) 数(物, 化, 生, 地学, 理Iから1)(注3) 外(英, 独, 仏から1)	数(代数・幾何, 基礎解析)又は外(「英語II・英語II B」, ドイツ語から1)課さない	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は, 本要項の5(1ページ)を参照すること。 2. 大学入試センター試験の「理科」については, (注4)を参照すること。	
	夜間主					
	昼間主	推薦入学 (入学定員 385人中 30人)	課さない	小論文 面接		
	夜間主					
	夜間主	推薦入学 (入学定員 60人中 20人)	4教科5科目 国(「数I」と「数II」) 数(物, 化, 生, 地学から1) 外(英, 独, 仏から1)	数(代数・幾何, 基礎解析, 微分・積分, 確率・統計(統計は除く。)) 数(代数・幾何, 基礎解析) 理(化学) 数(代数・幾何, 基礎解析) 理(物理, 化学, 生物, 地学から1) 数(代数・幾何, 基礎解析)又は外(英語II・英語II B) 理(物理, 化学, 生物, 地学から1) 数(代数・幾何, 基礎解析) 理(化学, 生物から1)		
	夜間主					
昼間主	前期日程に係る一般選抜の全部	5教科6科目 国(倫, 日, 世, 地理, 現社から1)(注1) 社数(「数I」と「数II」) 数(物, 化, 生, 地学から1) 外(英, 独, 仏から1)	数(代数・幾何, 基礎解析) 理(物理)			
夜間主						
夜間主	推薦入学 (入学定員 53人中 16人) 推薦入学 (入学定員 30人中 5人)	課さない	面接(数学的思考力をみるための検査を含む。) 簡単なテスト(化学) 面接(基礎学力に関する試問を含む。)			
夜間主						

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。
 注2. 「工業数理」又は「簿記会計I・簿記会計II」を選択解答できる者は, 高等学校において「工業数理」又は「簿記会計I・簿記会計II」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限る。
 注3. 「理科I」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。
 注4. 大学入試センター試験の「理科」について, 複教科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。
 注5. 個別学力検査等の日程は, 教育学部中学校教員養成課程(連続方式A日程)を除き, 分離・分割方式前期日程である。なお, 推薦入学の入学定員は, 当該日程の募集人員に含まれる。

(5-3)

学部(学科, 課程, 専攻等) 入学志願者に解答させる教科・科目名等	選抜の対象	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の利用方法	その他
工学部	電子情報工学科 機械システム工学科 物質工学科 化学生物工学科	前期日程に係る 一般選抜の全部	4教科5科目 国 数 理 外 〔「数I」と「数II, 工, 簿から1」〕(注1) 理 〔物, 化, 生, 地学, 理Iから1〕(注2) 外 〔英, 独, 仏から1〕	数(代数・幾何, 基礎解析) 理(物理) 数(代数・幾何, 基礎解析) 理(物理, 化学から1)	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は, 主要項の5(11ページ)を参照すること。 2. 大学入試センター試験の「理科」については, (注3)を参照すること。
	電子情報工学科 機械システム工学科 物質工学科 化学生物工学科	推薦入学 (入学定員132人中18人) 推薦入学 (入学定員101人中13人) 推薦入学 (入学定員88人中12人) 推薦入学 (入学定員86人中12人)	課さない	小論文 簡単なテスト(英語及び数学) 面接(基礎学力に関する試問を含む。)	

注1. 「工業数理」又は「簿記会計I・簿記会計II」を選択解答できる者は, 高等学校において「工業数理」又は「簿記会計I・簿記会計II」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。
 注2. 「理科I」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。
 注3. 大学入試センター試験の「理科」について, 複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。
 注4. 個別学力検査等の日程は, 分離・分割方式前期日程である。なお, 推薦入学の入学定員は, 当該日程の募集人員に含まれる。

(5-4)

(2) 後期日程

学部(学科、課程、専攻等)名	入学志願者に解答させる教科・科目名等	選抜の対象	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の利用方法	その他
人文学部	人文学科 国際文化学科 言語文化学科	後期日程に係る 一般選抜の全部	5教科5科目 国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕(注1) 数〔数I〕 理〔物、化、生、地学、理Iから1〕(注3) 外〔英、独、仏から1〕	課さない		
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程 情報教育 環境情報コース	後期日程に係る 一般選抜の全部	5教科6科目 国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕(注1) 数〔「数I」と「数II、工、簿から1」〕(注2) 理〔物、化、生、地学、理Iから1〕(注3) 外〔英、独、仏から1〕	実技〔音楽、美術、体育から1〕 小論文	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は、本要項の5(12ページ)を参照すること。 2. 大学入試センター試験の「理科」については、(注5)を参照すること。	教育学部の実技検査の内容については、本要項4(10ページ)を参照すること。
経済学部	経済学科 経営学科 経営法学科 夜間主 コース	後期日程に係る 一般選抜の全部	3教科3科目 国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕(注1) 数〔数I〕 外〔英、独、仏から1〕(注4) 5教科6科目 国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕(注1) 数〔「数I」と「数II、工、簿から1」〕(注2) 理〔物、化、生、地学、理Iから1〕(注3) 外〔英、独、仏から1〕	外〔英語II・英語IIB〕 〔英語読解力(英語の文章を出題し、その大意などを問う。) 外〔英語II・英語IIB〕 〔英語読解力(英語の文章を出題し、その大意などを問う。)		

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は、高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。
 注2. 「工業数理」又は「簿記会計I・簿記会計II」を選択解答できる者は、高等学校において「工業数理」又は「簿記会計I・簿記会計II」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限る。
 注3. 「理科I」を選択解答できる者は、高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。
 注4. 経済学部「昼間主コース」における大学入試センター試験の「社会」及び「数学」の両教科を受験している場合は、高得点の教科を利用する。
 注5. 大学入試センター試験の「理科」について、複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。
 注6. 個別学力検査等の日程は、分離・分割方式後期日程である。

(5-5)

入学志願者に解答させる教科・科目名等 (学部(学科, 課程, 専攻等)名)	選抜の対象	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の利用方法	その他
数 学 科	後期日程に係る 一般選抜の全部	4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)	面接(数学的な内容を含む。)	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は, 本要項の5(12ページ)を参照すること。 2. 大学入試センター試験の「理科」については, (注4)を参照すること。	
		5教科6科目 国 社 数 理 外 (倫, 日, 世, 地理, 現社から1)(注1) (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物)			
		3教科4科目 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		2教科3科目 数 理 (地学)			
物 理 学 科	後期日程に係る 一般選抜の全部	3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)	課さない		
		4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		3教科4科目 数 理 (化学)			
化 学 科	後期日程に係る 一般選抜の全部	4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)	小論文(化学に関するもの。)		
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		2教科3科目 数 理 (地学)			
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
生 物 学 科	後期日程に係る 一般選抜の全部	4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)	課さない		
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		2教科3科目 数 理 (地学)			
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
地 球 科 学 科	後期日程に係る 一般選抜の全部	4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)	課さない		
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		2教科3科目 数 理 (地学)			
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
生 物 圏 環 境 科 学 科	後期日程に係る 一般選抜の全部	4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)	課さない		
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		2教科3科目 数 理 (地学)			
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
電 子 情 報 工 学 科 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 物 質 工 学 科 化 学 生 物 工 学 科	後期日程に係る 一般選抜の全部	4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)	面接(化学的な内容を含む。)		
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		2教科3科目 数 理 (地学)			
		3教科4科目 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			
		4教科5科目 国 数 理 外 (「数Ⅰ」と「数Ⅱ」) (物, 化, 生, 地学から1) (英, 独, 仏から1)			

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。
 注2. 「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」を選択解答できる者は, 高等学校において「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。
 注3. 「理科Ⅰ」を選択解答できる者は, 高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。
 注4. 大学入試センター試験の「理科」について, 複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。
 注5. 個別学力検査等の日程は, 分離・分割方式後期日程である。

4. 教育学部の実技検査の内容

(1) 中学校教員養成課程（音楽、美術、保健体育専攻）（A日程）

区 分		検 査 内 容
芸 術	筆答試問	音楽通論
	音楽実技	<p>1. ソルフェージュ コールユーブンゲン第一巻（原書）№48～85の中より検査当日指定する。</p> <p>2. 声楽、器楽（ピアノ）による課題曲</p> <p>(1) 声楽 下記の歌曲より任意の一曲を暗譜演奏する。 Se tu m'ami (f moll) G.B.Pergolesi Sento nel core (f moll) A.Scarlatti Caro laccio (Es dur) F.Gasparini 浜辺の歌 (As dur) 成田 為三 北秋の (D dur) 信時 潔 かやの木山 (D dur) 山田 耕筈 (指定の調以外で歌う者は、伴奏譜を願書提出時に併せて提出すること。)</p> <p>(2) 器楽（ピアノ） バッハの三声インヴェンション（シンフォニア）より任意の一曲を暗譜演奏する。</p> <p>3. 声楽又は器楽による自由曲 声楽、ピアノ、管、弦、打楽器のうち、一つを選択し自由曲を暗譜演奏する。</p> <p>(注)(1) 自由曲演奏の声楽又は器楽の選択について 器楽を選択する場合は、願書提出時にその楽器名を記入する。 なお、ピアノ以外の器楽又は声楽を選択する者で、伴奏が必要な場合は、伴奏譜を願書提出時に併せて提出すること。</p> <p>(2) ピアノ、マリimba、コントラバス以外の楽器は各自で準備すること。</p>
芸 術	美術実技	基礎描写力検査（鉛筆及び淡彩による人物写生） 表現力検査（与えられたテーマと材料による立体表現）
保健体育	体育実技	<p>1. 基礎運動能力</p> <p>2. 運動技能</p> <p>(1) 器械運動 鉄棒運動(男)、平均台運動(女)、マット運動</p> <p>(2) 陸上競技 スタートダッシュ、立三段跳、三步助走の走高跳</p> <p>(3) 球 技 バレーボール、バスケットボール、サッカー</p> <p>(4) ダ ンス 主題による創作</p> <p>上記2(1)～(4)の四領域のうちより、二領域を選び、その領域より一種目ずつの運動を選ぶ。</p>

(2) 小学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、幼稚園教員養成課程（後期日程）

区 分		検 査 内 容
芸 術	音楽実技	<p>1. 歌唱又は楽器による自由曲演奏 歌唱は音楽Ⅰ程度までの歌曲 楽器は和楽器を除き、管、弦、鍵盤楽器いずれも可</p> <p>2. 筆記及び録音聴取による音楽Ⅰ程度の音楽能力検査</p> <p>(注)(1) 自由曲演奏の歌唱又は楽器の選択について 楽器を選択する場合は、願書提出時にその楽器名を記入する。 なお、自由曲は無伴奏で演奏するが、楽譜は見てもよい。</p> <p>(2) ピアノ、電子オルガン、マリimba以外の楽器は各自で準備すること。 なお、電子オルガン演奏では大学で設定した音色等を使用することとし、その詳細は願書受理後受験者に送付する。</p>
芸 術	美術実技	表現力検査 平面（鉛筆と着彩による。） 立体（粘土による。）
保健体育	体育実技	基礎運動能力検査

5. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点

(1) 前期日程・A日程

日区 程分	教科等		区 分	国語	社会	数学	理科	外国語	実技 検査	小論文	小計	合計		
	学部(学科・課程)													
前 期 日 程	人 文 学 部		大学入試センター試験	100	100	100	100	100			500	900		
			個別学力検査	200	—	—	—	200	—	—	400			
A 日 程	教 育	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	1,000		
		情報教育課程 教育情報コース 環境情報コース	個別学力検査	(200)	—	(200)	—	(200)	—	—	200			
A 日 程	学 部	中学校教員養成課程 〔国語, 社会, 数学, 理科, 家庭, 技術, 英語専攻〕	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	1,200		
				個別学力検査	(400)	—	(400)	—	(400)	—	—		400	
		中学校教員養成課程 〔音楽, 美術, 保健体育専攻〕	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	1,200		
				個別学力検査	—	—	—	—	400	—	400			
前 期 日 程	経 済 学 部	コ昼 間 ス主	経済学科 経営学科 経営法学科	大学入試センター試験	100	50	100	50	100		400	700		
				個別学力検査	—	—	(300)	—	(300)	—	—		300	
		コ夜 間 ス主	経済学科 経営学科 経営法学科	大学入試センター試験	200	100	200	100	200			800	800	
					個別学力検査	—	—	—	—	—	—	—		
	理 学 部	数 学 科			大学入試センター試験	100	—	100	100	200		500	1,000	
					個別学力検査	—	—	500	—	—	—	500		
		物 理 学 科			大学入試センター試験	200	100	200	100	200		800	1,400	
					個別学力検査	—	—	200	400	—	—	600		
		化 学 科			大学入試センター試験	200	—	200	100	200			700	1,100
					個別学力検査	—	—	200	200	—	—	—	400	
	生 物 学 科			大学入試センター試験	200	—	200	100	200			700	1,200	
				個別学力検査	—	—	200	300	—	—	—	500		
地 球 学 科			大学入試センター試験	100	—	200	100	200			600	1,000		
			個別学力検査	—	—	(200)	200	(200)	—	—	400			
生 物 圏 環 境 学 科			大学入試センター試験	100	—	200	200	200			700	1,100		
			個別学力検査	—	—	200	200	—	—	—	400			
工 学 部			大学入試センター試験	100	—	100	100	100			400	800		
			個別学力検査	—	—	200	200	—	—	—	400			

(注) 1. 配点の()は、選択教科を示す。

2. 理学部数学科の個別学力検査「数学」の配点は、「代数・幾何, 基礎解析」200点と「代数・幾何, 基礎解析, 微分・積分, 確率・統計(統計は除く。)」300点とで合計500点である。

(2) 後期日程

日区 程分	教科等		区 分	国語	社会	数学	理科	外国語	実技 検査	小論文	面接	小計	合計		
	学部(学科・課程)														
後 期 日 程	人 文 学 部		大学入試センター試験	100	100	100	100	100				500	500		
			個別学力検査	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	教 育 学 部	小学校教員養成課程		大学入試センター試験	200	200	200	200	200				1,000	1,200	
		養護学校教員養成課程		個別学力検査	—	—	—	—	—	200	—	—	200		
		情 報 教 育 課 程	教育情報コース	大学入試センター試験	200	200	200	200	200				1,000	1,400	
			環境情報コース	個別学力検査	—	—	—	—	—	—	400	—	400		
	経 済 学 部	コ 昼 間 ス 主	経済学科	大学入試センター試験	200	(100)	(100)	—	200				500	600	
			経営法学科	個別学力検査	—	—	—	—	100	—	—	—	100		
		コ 夜 間 ス 主	経済学科	大学入試センター試験	200	100	200	100	200				800	900	
			経営法学科	個別学力検査	—	—	—	—	100	—	—	—	100		
	日 程	数 学 科		大学入試センター試験	200	—	200	100	200				700	1,000	
				個別学力検査	—	—	—	—	—	—	—	300	300		
		理	物 理 学 科		大学入試センター試験	200	100	400	200	200				1,100	1,100
					個別学力検査	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		学	化 学 科		大学入試センター試験	—	—	200	200	200				600	1,000
					個別学力検査	—	—	—	—	—	—	400	—	400	
		部	生 物 学 科		大学入試センター試験	200	—	200	200	200				800	800
					個別学力検査	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			地 球 学 科	大学入試センター試験	—	—	100	400	—	—	—	—	—	500	500
				個別学力検査	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
生 物 圏 環 境 学 科			大学入試センター試験	—	—	200	300	200	—	—	—	—	700	700	
			個別学力検査	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
工 学 部		電子情報工学科		大学入試センター試験	100	—	300	300	100				800	800	
		機械システム工学科		個別学力検査	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	物質工学科		大学入試センター試験	100	—	300	300	100				800	1,000		
	化学生物工学科		個別学力検査	—	—	—	—	—	—	—	200	200			

(注) 配点の()は、選択教科を示す。

- | | |
|--|--------|
| 6. 特別選抜方法
7. 身体に障害を有する志願者との事前協議
8. 私費外国人留学生選抜の概要
9. 学生募集要項（細目）の発表
10. 学生募集要項の請求方法
11. 大学案内の請求方法
12. 入学者選抜試験実施方式・日程等の変更について（予告） | } (省略) |
|--|--------|

以上

平成5年度科学研究費補助金の交付決定

このたび、平成5年度科学研究費補助金の交付が決定しました。

本学における研究種目ごとの決定件数・金額等は、以下の表のとおりです。

研究種目	応募件数	交付決定件数	交付決定金額 千円	採択率(%)	平成4年度 交付決定件数	平成4年度 交付決定金額 千円
重点領域研究	8	2	5,200	25	7	39,200
総合研究(A)	7	2	10,500	28.6	3	19,400
一般研究(A)	3	0	0	0	0	0
一般研究(B)	33	5	16,600	15.2	6	14,700
一般研究(C)	117	26	28,400	23.1	23	24,800
奨励研究(A)	37	12	10,500	29.7	10	8,400
試験研究(B)	8	2	12,700	25	1	3,000
国際学術研究	8	2	13,000	25	2	10,000
計	221	51	96,900	23.1	52	119,500

平成5年度科学研究費補助金の交付決定者一覧

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額(千円)		
	所属	職	氏名		平成5年度	平成6年度	平成7年度
重点領域研究(2)	理学部	教授	高木光司郎	高励起状態における星間分子の分光学的研究	2,100		
〃	人文学部	教授	宇野 隆夫	電磁気調査および古地磁気による遺跡探査法の開発研究	3,100		
総合研究(A)	人文学部	教授	富田 正弘	古文書料紙原本にみる材質の地域的特質・時代的変遷に関する基礎的研究	4,000	3,000	
〃	人文学部	教授	宇野 隆夫	北陸中世社会史の考古学的研究	6,500	4,000	1,500
一般研究(B)	人文学部	教授	気賀沢保規	中国河北における刻経事業の総合的研究 —房山雲居寺石経を中心に—	900	900	
〃	工学部	助教授	松木 賢司	高速超塑性アルミニウム—SiC粒子複合材料の開発に関する研究	900		
〃	理学部	教授	桜井 醇児	重い電子系の極低温領域の伝導輸送現象と電子相関	6,900	500	
〃	理学部	教授	尾島 十郎	新しい大環状共役化合物の合成と物性に関する研究	5,500	2,000	
〃	地域共同研究センター	助教授	池野 進	独自の手法による非鉄材料のベイナイト反応の解明	2,400		
一般研究(C)	人文学部	教授	磯部 彰	近世における中国・朝鮮・日本三国の〈西遊記〉演劇の比較研究	500		
〃	理学部	教授	川崎 一朗	日本列島近辺のサイレント/スローアースクエイクの検出	500		
〃	理学部	助教授	金森 寛	バナジウム(Ⅲ)錯体の水溶液内配位構造とオキソ架橋二核錯体形成能	600		
〃	工学部	教授	能登谷久公	炭化珪素粒子分散型アルミニウム合金の穴明け用多結晶ダイヤモンド工具の設計と製作	500		
〃	教育学部	助教授	諸岡 晴美	高機能性を付与したパンティーストッキングの消費科学的研究	500		
〃	教育学部	助教授	田上 善夫	日欧の中世・近世の気候変動に関する研究	400		
〃	人文学部	教授	小谷 仲男	クシャン王朝と漢・六朝時代西域との交流	1,000	700	
〃	経済学部	教授	萩野 聡	「暫定的行政行為」の研究	900		
〃	工学部	助教授	江上 繁樹	指数和, 指標和の評価及び代数体, 行列への一般化	900		
〃	理学部	教授	久保 文夫	量子不等式の研究	2,000		
〃	理学部	助教授	池田 栄雄	反応—拡散方程式系における界面のダイナミスの研究	1,700		
〃	理学部	助教授	松島 房和	水分子の純回転遷移周波数の精密測定	2,100		
〃	理学部	教授	堀越 勲	北海道における日本海拡大時の島孤火山岩と鉱床の生成	1,900	300	

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額(千円)		
	所属	職	氏名		平成5年度	平成6年度	平成7年度
一般研究(C)	理学部	助教授	吉田 尚弘	一酸化二窒素とメタンの地球化学的循環の同位体による解析	1,700	500	
"	理学部	助教授	樋口 弘行	非線形光学材料の開発を目的とする電荷移動型共役化合物に関する研究	2,000		
"	教育学部	教授	田中 晋	日本の湖沼沿岸帯におけるミジンコ類(甲殻類枝角目)の分布と生態に関する比較研究	1,300	500	400
"	理学部	教授	山田 恭司	シダ類および針葉樹における暗所でのクロロフィル合成関連遺伝子の構造と発現調節	1,400	400	400
"	理学部	教授	黒田 英世	卵細胞内カルシウムイオンの一過性増大を誘起する精子由来の因子の同定	1,500	600	
"	水素研	助手	蘆田 完	水素貯蔵合金の表面改質	1,200	500	
"	教育学部	助教授	神川 康子	現代人の日常生活における潜在的ストレスや蓄積疲労の実態把握とその軽減のための試み	1,000	500	400
"	教育学部	教授	山地 啓司	心拍の周波数分析(MEM)からみたピーキングの変動予測に関する研究	500		
一般研究(C)萌	人文学部	助教授	岩井 瑞枝	フォンテーヌブロー派研究	400		
"	理学部	教授	平山 実	量子群上のゲージ場の理論	600	600	
"	工学部	助教授	松郷 誠一	長波長光照射により水酸ラジカルを発生する試薬の分子設計—光フェントン試薬の開発—	500		
"	経済学部	講師	瀧 敦弘	銀行の株価形成に関する経済分析(株式持合の効果についての実証分析)	1,000	400	
"	理学部	教授	井上 弘	葉緑体分裂の開始と同期した葉緑体内プロテアーゼの活性発現制御機構	1,800	600	
奨励研究(A)	人文学部	助教授	本郷 真紹	日本古代の律令国家・王権と宗教	900		
"	教育学部	講師	徳橋 曜	14, 15世紀のフィレンツェに於ける地域社会の人的ネットワーク	900		
"	経済学部	助教授	飯野 正幸	資本市場における資産価格形成の均衡と裁定を軸とする理論的研究	900		
"	経済学部	助教授	鈴木 基史	利用者志向型会計におけるキャッシュフロー情報	800		
"	理学部	助手	古田 高士	概エルミート多様体のリーマン幾何学的性質と位相的性質	900		
"	理学部	助手	菊池 万里	マルチンゲールの補間空間とノルム不等式	1,000		
"	理学部	助手	大藤 茂	剪断塑性変形する岩石の再結晶粒径を左右する物理条件	900		
"	工学部	講師	吉田 正道	高分子膜製造における不純物除去促進を目的とした多成分溶液乾燥のモデリング	700		

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額(千円)		
	所属	職	氏名		平成5年度	平成6年度	平成7年度
奨励研究(A)	工学部	助手	星野 一宏	高温型温度刺激応答性セルラーゼを用いた農産廃棄物からのエネルギー資産の連続生産	1,200		
奨励研究(A)萌	教育学部	助教授	河本 肇	あせりの制御におけるセルフ・エフィカシーの効果	600		
〃	人文学部	講師	佐藤 裕	障害者一介護者関係に関する実証的研究	900		
〃	工学部	助手	米山 嘉治	有機亜鉛化合物による石炭の可溶化	800		
試験研究(B)(1)	教育学部	助教授	藤田 正春	マルチメディアによる外国人子女用日本語教材ソフトウェアの開発	8,200	9,000	
試験研究(B)(2)	水素研	助教授	松山 政夫	制動X線計測法に基づくトリチウム流量・流路制御システムの開発	4,500	900	

平成5年度科学研究費補助金(国際学術研究)の交付決定者一覧

種別	分野	研究代表者			研究課題	交付決定額(千円)		
		所属	職	氏名		平成5年度	平成6年度	平成7年度
学術調査	社会系	人文学部	助教授	末原 達郎	アフリカにおける食糧生産とその社会経済的背景に関する研究	6,000	6,000	
〃	理学系	理学部	教授	広岡 公夫	インド半島マハナディ地溝帯及びゴダバリ地溝帯の地史とプレートテクトニクスの研究	7,000		

平成5年度富山大学国際交流事業基金による各種事業の採択

平成5年度富山大学国際交流事業のうち第1種海外派遣事業(A)、第2種外国人研究者の招へい事業(A)、第3種外国留学への奨学事業及び外国人留学生への奨学事業に次の22件が採択されました。

○ 第1種海外派遣事業(A) (遼寧大学)

部 局	氏 名	職 名	派 遣 期 間	研 究 課 題
人文学部	本 郷 真 紹	助 教 授	5.9.24 ~ 5.10.31(38日間)	渤海文化と古代の日本

○ 第2種外国人研究者の招へい事業(A) (遼寧大学)

受 入 れ 教 官			招 へ い 期 間	招 へ い 研 究 者		研 究 課 題
部 局	氏 名	職 名		氏 名	所 属・職 名	
理学部	松本 賢一	教授	5.9.6 ~ 5.11.30(86日間)	辛 宗政	物理系・助教授	大統一地論と関連する諸問題

○ 第3種外国留学への奨学事業

氏 名	所属学部(研究科)・学科(専攻)・(学年)	指 導 教 官	留 学 先	留 学 期 間
清 家 仁	人文科学研究科 西洋文化専攻 (2)	矢澤英一 教授	プーシキン大学 (ロシア連邦)	平成5年9月1日 ~平成6年6月30日
唐 木 暁美	人 文 学 部 語学文学科 (4)	三寶政美 教授	遼寧大学 (中華人民共和国)	平成5年10月1日 ~平成6年2月29日
谷 志津乃	人 文 学 部 語学文学科 (4)	藤井一行 教授	イルクーツク外国語教育大学 (ロシア連邦)	平成5年9月15日 ~平成6年3月9日

○ 第3種外国人留学生への奨学事業

氏 名	国 籍	所 属 (学年)	滞 在 期 間
李 志	中 国	人文科学研究科 日本・東洋文化専攻 (1)	平成4.4.1~7.3.31
管 関 金	中 国	工学研究科 工業化学専攻 (1)	2.10.16~7.3.31
DO VAN HAO	ベトナム	工学部電子情報工学科 (4)	2.4.1~6.3.31
徐 鋒	中 国	経済学部経営学科 (3)	3.4.1~7.3.31
葉 軍	中 国	経済学部経営学科 (3)	3.4.1~7.3.31
CHAN KEAN HAN	マレーシア	経済学部経営学科 (3)	3.4.1~7.3.31
DON HUU HANH	ベトナム	工学部電子情報工学科 (3)	2.4.1~6.3.31

氏 名	国 籍	所 属 (学年)	滞 在 期 間
楊 斌	中 国	工学部電子情報工学科 (3)	平成3. 4. 1～7. 3. 31
林 広 麗	中 国	経済学部経営学科 (2)	4. 4. 1～8. 3. 31
金 東 一	韓 国	工学部電子情報工学科 (2)	3. 4. 1～7. 3. 31
金 承 駿	韓 国	工学部機械システム工学科 (2)	3. 4. 1～7. 3. 31
LIM YE W CHEW	マレーシア	工学部機械システム工学科 (2)	4. 4. 1～8. 3. 31
林 容 竹	台 湾	人文学部人文学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
廖 雯 琪	台 湾	人文学部国際文化学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
FOO SUAN TOON	マレーシア	教育学部中学校教員 養成課程(美術) (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
劉 善 來	マレーシア	工学部機械システム工学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
PALASH BANERJEE	イ ン ド	人文学部研究生	4. 6. 4～6. 3. 31

なお、富山大学国際交流事業後援会は、昭和63年9月30日に解散しましたが、その後も引き続き、国際交流事業基金への寄附を受け付けていますので、御寄附くださる方は、ご連絡ください。
(庶務課庶務係)

平成5年度富山大学国際交流後援会事業（外国人留学生への宿舍費補助）の採択

平成5年度富山大学国際交流後援会事業のうち、外国人留学生への宿舍費補助事業に次の20件が採択されました。

氏 名	国 籍	所 属 (学年)	滞 在 期 間
鄭 廷 棟	台 湾	工学研究科 電子工学専攻 (2)	平成4. 4. 1～6. 3. 31
蘇 歴 銘	中 国	経済学研究科 地域・経済政策専攻 (1)	5. 4. 1～7. 3. 31
李 晶 燁	中 国	工学研究科 生産機械工学専攻 (1)	4. 4. 1～7. 3. 31
葉 軍	中 国	経済学部経営学科 (3)	3. 4. 1～7. 3. 31
高 熙 寧	中 国	経済学部経営学科 (2)	4. 4. 1～8. 3. 31
楊 慧 娟	中 国	経済学部経営学科 (2)	4. 4. 1～8. 3. 31
LIM KIAN KIM	マレーシア	工学部電子情報工学科 (2)	4. 4. 1～8. 3. 31
TAN BOON GI	マレーシア	工学部機械システム工学科 (2)	4. 4. 1～8. 3. 31
林 容 竹	台 湾	人文学部人文学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
廖 雯 琪	台 湾	人文学部国際文化学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
FOO SUAN TOON	マレーシア	教育学部中学校教員 養成課程(美術) (1)	5. 4. 1～9. 3. 31

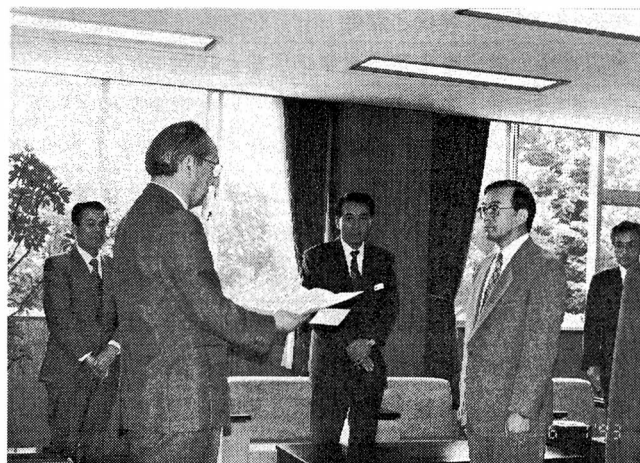
氏 名	国 籍	所 属 (学年)	滞 在 期 間
賀 卓 識	中 国	経済学部経営学科 (1)	平成5. 4. 1～9. 3. 31
陳 盈 村	台 湾	経済学部経営学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
GOH WEI PING	マレーシア	工学部電子情報工学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
許 志 銘	台 湾	工学部機械システム工学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
CHEAH YEAK SANG	マレーシア	工学部機械システム工学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
陳 必 祥	マレーシア	工学部機械システム工学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
李 国 菘	マレーシア	工学部機械システム工学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
劉 善 來	マレーシア	工学部機械システム工学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31
盧 莉 琳	台 湾	工学部化学生物工学科 (1)	5. 4. 1～9. 3. 31

富山第一銀行奨学財団から助成金の贈呈

富山第一銀行奨学財団による平成5年度研究活動及び設備等に対する助成事業のうち、本学関係者が次のとおり決定し、去る6月7日(月)学長室において財団の宮下常務理事から各研究者に目録の贈呈式が行われました。

(研究助成金)

部 局	職	氏 名	研 究 課 題	助成金
教育学部	教授	瀧澤 弘	ハンス・カロツサ研究	50万円
工学部	〃	森 克徳	酸化物高温超伝導体の磁場下における物性研究	50万円



▲ 富山第一銀行奨学財団宮下常務理事より研究者に目録贈呈

お知らせ

他大学の自己点検評価報告書の供覧について

本年7月30日現在、他大学の自己点検評価報告書の保管は、下記のとおりです。

ご利用の際は、各配置先にご連絡下さい。

大学名	報告書名	発行年月	学内配置先		備 考
			図書館	企画室	
東京大学	東京大学の現状と課題	平成4年12月	2	1	学報第342号に掲載済み
名古屋大学	明日を拓く名古屋大学	平成5年1月	2	1	〃
徳島大学	徳島大学の現状と課題	平成4年12月	1	1	〃
東京農工大学	東京農工大学における教育研究の現状と課題	平成5年12月	2	1	〃
鳥取大学	鳥取大学の現状と課題	平成4年12月	1	—	〃
大阪大学	大阪大学白書・1993—地域に生き世界に伸びる—	平成5年4月	2	1	〃
埼玉大学	埼玉大学の現状と課題	平成5年3月	1	—	〃
静岡大学	静岡大学の教育と研究	平成5年3月	1	—	〃
島根大学	島根大学の現状と課題(1)内容(研究者総覧)	平成5年3月	1	—	〃
香川大学	香川大学の現状と課題—教育と研究—	平成5年5月	1	—	〃
東京学芸大学	東京学芸大学白書—教育と研究の現状1992—	平成5年5月	1	—	
山口大学	現状と課題—山口大学教養部—	平成5年4月	1	—	
埼玉大学工学部	現状と課題	平成5年1月	1	—	
帯広畜産大学	帯広畜産大学の現状と課題	1993年6月	1	—	
広島大学	広島大学白書「新しい大学像をめざして—専門深化と総合化—」1993	平成5年5月	1	—	
横浜国立大学	横浜国立大学自己点検・評価報告書	平成5年6月	1	—	
愛媛大学	これでいいのか愛媛大学—入試と教育の現状と課題—	1993年6月	1	—	
〃	愛媛大学自己点検・評価報告書	平成5年6月	1	—	
山梨大学	「山梨大学は、いま—山梨大学活動報告'93」	1993年6月	1	—	
岐阜大学教養部	岐阜大学教養部の現状と課題	1993年6月	1	1	
滋賀大学	滋賀大学の現状と課題—1993—	平成5年3月	1	—	
北海道大学	北大のルネサンスを目指して—北海道大学の現状と課題—	平成5年6月	1	—	
金沢大学理学部	教育と研究の現状と展望	1993年5月	1	—	
福井大学	福井大学現状と課題	平成5年6月	1	—	
新潟大学工学部	教育・研究の現状と展望	平成5年4月	1	—	
群馬大学	群馬大学教育の現状と今後の改革の方向	平成5年6月	1	—	
東京工業大学	Tokyo Tech Now 東京工業大学1993	1993年7月	1	—	
岩手大学	岩手大学における教育	平成5年7月	1	—	
東京商船大学	東京商船大学教育研究活動の現状1992	平成5年3月	1	—	
金沢大学	金沢大学現状と課題1993	1993年6月	1	—	

情 報

「より良い授業を求めて」

学生の体質の変化に対応した教育方針への
自己点検評価の実施 — 東京工業大学 —

このほど、東京工業大学では「より良い授業を求めて」を発刊しました。この冊子は、同大学長から「最近の学生の体質の変化に対応した本学の教育方針の指針の作成」について諮問を受けた教務委員会が、授業の実態について調査を実施し、その結果を基にまとめたものです。

内容は、まず「講義室（教室）の物理的環境」を取りあげ講義室の面積、採光、窓の開閉状況、温度、湿度、照度など施設設備について、測定を行い問題点を指摘しています。

また、「教授方法と学生の理解度」等の調査では、教官と学生の双方から得た回答を参考にして、学生による授業の評価は全般的には高いとしながらも、評価

が相対的に低い例として「全体的に説明がくどく、無駄が多い。学生の理解度を確かめずに授業を進め、話し方もユーモアに欠けていると感じられる。」ものがあることや、「授業に対する教官の熱意は、教官として必要条件ではあるがそれのみではなく、教授方法の工夫が実っているかどうかの客観的な確認も肝要である」等の指摘も行っています。

後半には、この点検、調査から得られた教官、学生別の数多くの調査結果が項目別に収録されて290頁に及ぶ冊子にまとまっています。

なお、この冊子をご覧になりたい場合は附属図書館に保管してありますのでご利用下さい。

学 位 取 得 者

学位取得者 教育学部 助教授 深 井 甚 三

学位の種類 文学博士（東北大学）

取得年月日 平成 5 年 2 月 4 日

学位論文名 幕藩制下陸上交通の研究

学位取得者 工学部 講師 奥 井 健 一

学位の種類 工学博士（東京工業大学）

取得年月日 平成 5 年 6 月 30 日

学位論文名 壁面との間にすきまを有する直立円柱まわりの流れに関する研究

学位取得者 経済学部 助教授 太 田 雅 晴

学位の種類 工学博士（京都大学）

取得年月日 平成 5 年 5 月 24 日

学位論文名 プロダクション・マーケティング統合計画
モデルに関する研究

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	理学部	助手	酒井 英男	インド	科学研究費補助金（国際学術研究）に係る研究結果の検討、研究打合せ	5. 6. 5 ） 5. 6. 13
	工学部	”	高野 登	シンガポール	I SOPE-93国際会議に出席し、研究発表を行う	5. 6. 8 ） 5. 6. 12
	”	教授	龍山 智榮	ドイツ連邦共和国	第4回半導体の界面形成に関する国際会議に出席	5. 6. 11 ） 5. 6. 21
	”	講師	丹保 豊和	”	”	”
	理学部	教授	小林 武彦	インドネシア	シンポジウム、現地討論及び観測所視察	5. 6. 11 ） 5. 6. 22
	”	助教授	竹内 章	ロシア連邦	地震地質及び変動地形の調査と地質標本採取	5. 6. 23 ） 5. 7. 14
海外研修	教育学部	助教授	西川 友之	大韓民国	バレーボール審判技術研修及び韓国におけるスポーツ文化の類似性に関する調査研究	5. 6. 2 ） 5. 6. 6
	”	”	大川 信行	”	日韓民族スポーツ・シンポジウムと韓国民族スポーツ調査会の出席及び韓国民俗スポーツに関する史料収集	5. 6. 18 ） 5. 6. 27
	工学部	助手	小野 慎	カナダ	第13回アメリカペプチド討論会に出席し、研究発表を行うとともに海外研究者と研究討議を行う	5. 6. 19 ） 5. 7. 1
	経済学部	教授	中藤 康俊	ロシア連邦	ロシア極東地方の経済事情に関する調査・研究	5. 6. 21 ） 5. 7. 1
	理学部	”	吉田 範夫	中華人民共和国	非線形発展偏微分方程式に関する国際会議における講演及び中国科学院における研究打合せ	5. 6. 21 ） 5. 6. 27
	教育学部	助教授	堀田 朋基	フィンランド フランス	国際バイオメカニクス学会での発表準備及びパリ大会での発表を行う	5. 6. 28 ） 5. 7. 10

関 係 法 令

(省 令)

- 国立学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令（文部28） 6. 1
- 国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令（大蔵69） 6. 30
- 国家公務員等共済組合法施行規則の一部を改正する省令（大蔵72） 7. 15
- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令の一部を改正する省令（文部29） 7. 29

(規 則)

- 計算証明規則の一部を改正する規則（会計検査院3） 5. 27
- 人事院規則9-17（俸給の特別調整額）の一部を改正する人事院規則（人事院9-17-44） 7. 1
- 人事院規則9-55（特地勤務手当等）の一部を改正する人事院規則（同9-55-28） 7. 1

諸 会 議

平成5年度第1回入学試験実施委員会（5月6日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度入学者選抜試験の実施に伴う基本方針（案）について
- (2) 平成6年度入学者選抜実施教科・科目等（案）について
- (3) 平成6年度大学説明会並びに高等学校との懇談会について
- (4) 平成6年度入学者選抜試験日程について
- (5) 平成6年度専門委員会委員について

平成5年度第1回入学試験委員会（5月6日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度富山大学入学者選抜試験の実施に伴う基本方針（案）について
- (2) 平成6年度富山大学入学者選抜実施教科・科目等（案）について
- (3) 平成6年度大学説明会並びに高等学校との懇談会について
- (4) 平成6年度富山大学入学者選抜試験日程について
- (5) 平成6年度入学試験実施委員会問題作成専門委員会主任委員について

第3回自己点検評価委員会（5月13日）

（議 題）

- (1) 自己点検評価報告書（案）について
- (2) その他

平成5年度第2回授業料等減免選考委員会（5月14日）

（議 題）

- (1) 平成5年度前期分授業料免除者の選考について
- (2) その他

平成5年度第1回教養教育委員会（5月17日）

（審議事項）

- (1) 新教育課程実施委員会及び教育改革整備委員会から申し送り事項の取扱いについて
- (2) 平成5年度に係る教養教育実施経費について
- (3) その他

平成5年度第1回施設整備委員会（5月20日）

（議 題）

- (1) 平成6年度国立学校施設整備費概算要求等について
- (2) その他

平成5年度第5回評議会（5月21日）

（審議事項）

- (1) 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正について

- (2) 富山大学大学院理学研究科規則の一部改正について
- (3) 富山大学新教育課程実施委員会規則の廃止について
- (4) 富山大学において行政機関の休日に開庁する部局等を定める規則の制定について
- (5) 平成6年度概算要求(案)について
- (6) 学生の除籍について
- (7) その他

平成5年度第1回大学院委員会(5月21日)

(審議事項)

- (1) 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正について
- (2) 富山大学大学院理学研究科規則の一部改正について
- (3) 富山大学大学院理学研究科の入学者選抜方法に関する申合わせについて
- (4) 平成6年度富山大学大学院経済学研究科(修士課程)及び理学研究科(修士課程)学生募集要項について
- (5) その他

平成5年度第3回学生生活協議会(5月21日)

(審議事項)

- (1) 第38回大学祭について
- (2) その他

平成5年度第1回公開講座委員会(5月25日)

(議 題)

- (1) 高等教育振興財団の助成について
- (2) その他

平成5年度第1回レクリエーション委員会(5月27日)

(議 題)

- (1) 平成5年度職員厚生経費の使用計画について
- (2) その他

平成5年度第2回附属図書館商議会(6月1日)

(審議事項)

- (1) 大型コレクションの要求について
- (2) その他

平成5年度第2回教養教育委員会(6月4日)

(審議事項)

- (1) 平成5年度による教養教育実施経費について
- (2) その他

平成5年度第1回学園ニュース編集委員会(6月10日)

(審議事項)

- (1) 第81号学園ニュースの発行について
- (2) その他

平成5年度第1回富山大学情報処理センター運営委員会(6月11日)

(審議事項)

- (1) 富山大学キャンパス情報ネットワーク設備について
- (2) 富山大学キャンパス情報ネットワーク設備の調達に係る仕様策定委員の委嘱について
- (3) その他

平成5年度第1回学寮委員会(6月11日)

(審議事項)

- (1) 寮生との話し合い(いわゆる団交)について
- (2) その他

平成5年度第2回入学試験実施委員会(6月17日)

(審議事項)

- (1) 平成6年度富山大学入学者選抜要項(案)について
- (2) 平成5年度高等学校と富山大学との入試に関する懇談会実施要項(案)について
- (3) 平成5年度富山大学説明会実施要項(案)について
- (4) 平成6年度富山大学学生募集要項(推薦入学, 帰国子女・社会人特別選抜)(案)について
- (5) 富山大学入学試験実施委員会規則の一部改正について
- (6) 各専門委員会委員について

平成5年度第2回入学試験委員会(6月22日)

(審議事項)

- (1) 平成6年度富山大学入学者選抜要項(案)について
- (2) 平成5年度高等学校と富山大学との入試に関する懇談会実施要項(案)について
- (3) 平成5年度富山大学説明会実施要項(案)について
- (4) 平成6年度富山大学学生募集要項(推薦入学, 帰国子女・社会人特別選抜)(案)について
- (5) 富山大学入学試験実施委員会規則の一部改正について

平成5年度第2回事務協議会(6月24日)

(議 題)

当面の諸問題について

平成5年度第1回国際交流委員会（6月24日）

（審議事項）

- (1) 平成5年度富山大学国際交流事業基金各種事業の採択について
- (2) 平成5年度富山大学国際交流後援会事業（外国人留学生への宿舍費補助）の選考について
- (3) その他

平成5年度第6回評議会（6月25日）

（審議事項）

- (1) 富山大学入学試験実施委員会規則の一部改正について
- (2) 富山大学地域共同研究センター規則の一部改正に

ついて

- (3) 平成5年度学内予算配分（案）について
- (4) その他

平成5年度第2回大学院委員会（6月25日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度富山大学大学院工学研究科（修士課程）学生募集要項について
- (2) その他

平成5年度第3回附属図書館商議会（6月29日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度概算要求（追加）について

学 内 規 則

富山大学入学試験実施委員会規則の一部改正

富山大学入学試験実施委員会規則の改正理由

専門委員会委員の任期を各専門委員会ごとに、一般選抜試験又は特別選抜試験の種類に応じて定めることとし、その定めについては、別に申合せを制定するため、所要事項を改める。

富山大学入学試験実施委員会規則の一部を改正する規則を次のとおりと制定する。

平成5年6月25日

富山大学長 小黒 千足

富山大学入学試験実施委員会規則の一部を改正する規則

富山大学入学試験実施委員会規則（平成3年11月22日制定）の一部を次のように改正する。

第7条第3項中「、1年とする。」を「、別に定める。」に改める。

附 則

この規則は、平成5年6月25日から施行する。

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の改正理由

平成5年6月1日付け文高学第109号・文部事務次官通報に基づき、研究生、聴講生等に係る入学料及び検定料を改訂するため、所要事項を改める。

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成5年7月16日

富山大学長 小黒 千足

富山大学学則の一部を改正する学則**附 則**

富山大学学則（昭和59年3月12日制定）の一部を次のように改正する。

この学則は、平成5年7月16日から施行する。ただし、平成5年度内の入学に係る入学料及び検定料の額は、従前のおりとする。

別表第4中「8,000円」を「8,600円」に、「69,000円」を「78,000円」に、「23,000円」を「26,000円」に改める。

富山大学自己点検評価規則の一部改正**富山大学自己点検評価規則の改正理由**

平成4年度における自己点検評価が終了したことに伴い、所要事項を改める。

富山大学自己点検評価規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成5年7月16日

富山大学長 小黒 千足

富山大学自己点検評価規則の一部を改正する規則

第7条中第2号を削り、第3号を第2号とし、第4号から第11号までを1号ずつ繰り上げる。

富山大学自己点検評価規則（平成4年9月11日制定）の一部を次のように改正する。

附 則

この規則は、平成5年7月16日から施行する。

富山大学地域共同研究センター規則の一部改正**富山大学地域共同研究センター規則の改正理由**

地域共同研究センターの事業の円滑な遂行のため、運営委員会組織を整備し、所要事項を改める。

富山大学地域共同研究センター規則の一部改正する規則を次のとおり制定する。

平成5年7月16日

富山大学長 小黒 千足

富山大学地域共同研究センター規則の一部を改正する規則

同条第2項中「第5号」を「第6号」に改める。

富山大学地域共同研究センター規則（昭和62年5月21日制定）の一部を次のように改正する。

附 則

この規則は、平成5年7月16日から施行する。

第7条第1項各号を次のように改める。

- (1) センター長
- (2) センターの専任の教員
- (3) 教育学部の教授 2人
- (4) 理学部の教授 6人
- (5) 工学部の教授 9人
- (6) 水素同位体機能研究センターの教授 1人

職 員 消 息

＜新任者住所＞

教育学部

教 授 笹 尾 靖 也
(教育情報科学)

助 教 授 田 上 善 夫
(地 理 学)

助 教 授 山 瀬 晋 吾
(彫 塑)

助 教 授 山 下 正 人
(電 気)

助 教 授 金 久 博 昭
(保健体育科教育)

事務長補佐 清 水 寛

文部事務官 亀 谷 珠 美
(学 務 係)

文部事務官 倉 田 実
(学 務 係)

工 学 部

助 手 小 田 晃 規
(物質化学工学)

＜住所変更＞

庶務部庶務課

文部事務官 石 塚 久 博
(庶 務 係)

人文学部

教 授 藤 井 一 行
(国際文化関係論)

助 教 授 大工原 ちなみ
(英米言語文化)

講 師 田 村 俊 介
(日本東洋言語文化)

教 授 渡 邊 洋
(国際文化関係論)

教育学部附属小学校

教 諭 前 田 裕 子

理 学 部

助 手 菊 池 万 里
(情報数理)

助 手 石 岡 努
(合成物性化学)

附属図書館
文部事務官 寺 尾 清 志
(学術情報係)

文部技官 田 中 る み
(地球科学科)

工 学 部
事務補佐員 堀 裕 子
(生産システム工学
制御システム工学)

<改 姓>
教育学部附属小学校
教 諭 前 田 裕 子 (旧姓 南)
経 済 学 部
助 手 西 山 裕 子 (旧姓 般若)
(管理科学)

主 要 行 事

本 部

- 5月6日 第1回部局長懇談会
名誉教授称号授与式
第1回入学試験実施委員会
第1回入学試験委員会
7日 平成6年度概算要求ヒアリング
10日 自己点検評価委員会各専門委員会・主査・副
主査連絡会
学内共通経費ヒアリング
10～11日 学内人事関係事項説明聴取
11～13日 平成5年度文部省施設実地検査
11～14日 平成5年度国立学校等幹部職員研修(課長級)
(於：国立オリンピック記念青少年総合セン
ター)
13日 第3回自己点検評価委員会
低温液化室保安検査
13～14日 全国国立大学教養(学)部長会議・同事務協
議会(於：岐阜大学)
14日 教養教育に関する特別委員会(於：国立大学
協会)
第2回授業料等減免選考委員会

- 15日 第45回北陸地区国立大学体育連盟運営協議会
17日 第1回教養教育委員会
18日 平成5年度国立大学事務局長会議(於：学士
会館)
第1回平成6年度大学入試センター試験富山
県地区連絡会議
19日 交通安全一斉指導
20日 第2回教養教育委員会企画専門委員会(持ち
回り)
平成5年度第1回施設整備委員会
21日 第5回評議会
第1回大学院委員会
第2回教養教育委員会管理運営専門委員会
第3回学生生活協議会
24日 第2回国際交流委員会留学生部会
25日 富山地域リカレント教育推進協議会
(於：富山県民会館)
第1回公開講座委員会
26日 文部省共済組合主管課長会議(於：東京大学)
就職に関する説明会
27日 レクリエーション委員会
27～31日 第38回大学祭
27～28日 平成5年度国立学校等経理部課長会議(於：

東京医科歯科大学)	第2回事務協議会
28日 第13回北陸地区国立大学人事担当課長会議	第1回国際交流委員会
31日 平成5年度富山大学永年勤続者表彰式	北陸地区事務電算化協議会(於:金沢大学)
6月1日 第2回教養教育委員会実施専門委員会	学内予算配分説明
平成5年度大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会(於:神戸国際会議場)	24~25日 平成5年度国立大学入試担当課長連絡協議会(於:金沢大学)
1~2日 平成5年度国立大学施設担当部課長会議(於:東京医科歯科大学)	25日 第6回評議会
2日 各省庁地方支分部局予算決算関係事務研修会(於:北陸財務局)	第2回大学院委員会
3日 国立大学入学者選抜研究連絡協議会第14回大会(於:国立教育会館)	学内予算配分付議
3~4日 国立学校及び施設等機関等庶務部課長会議(於:東京医科歯科大学)	28日 学務関係係長会議
4日 平成5年度国立学校国際交流担当部課長会議(於:東京医科歯科大学)	29日 第3回教養教育委員会管理運営委員会
第2回教養教育委員会	
7日 財団法人富山第一銀行奨学財団助成金贈呈式	
10日 第1回学園ニュース編集委員会	
10~11日 教育職員養成審議会課程認定特別委員会委員による実地視察	
11日 特殊教育就学奨励費交付金事務担当者会議(於:教育会館)	
第1回情報処理センター運営委員会	
第1回学寮委員会	
14日 部課長会議	
14~18日 国立学校事務電算化基幹要員研修会(B)(於:山中共同研修所)	
15日 国立大学総会第92回総会(於:学士会館)	
第3回教養教育委員会企画専門委員会	
第1回国際交流委員会学術交流部会	
富山県留学生等交流推進会議運営委員会幹事会	
16日 国立大学リフレッシュ教育担当課長会議(於:東京医科歯科大学)	
北陸地区国立大学体育大会壮行会	
17日 国立大学長会議(於:学士会館)	
第2回入学試験実施委員会	
18日 国立大学総会第59回事務連絡会議	
21日 平成6年度概算要求ヒアリング(於:名古屋工事事務所)	
22日 第3回教養教育委員会実施専門委員会	
第2回入学試験委員会	
24日 第2回部局長懇談会	
	人 文 学 部
	5月10日 学部学生生活委員会
	11日 「人文学部のしおり」編集委員会
	12日 係長会議
	学部教務委員会
	学部入学者選抜方法検討委員会
	13日 学部職業補導委員会
	17日 学部紀要委員会
	18日 「人文学部のしおり」編集委員会
	19日 教授会
	教授会(人事)
	人文科学研究科委員会
	24日 学部図書委員会
	27日 学部教務委員会
	27~28日 第38回国立17大学人文系学部長会議(於:福島大学)
	31日 「人文学部のしおり」編集委員会
	6月2日 学部2年次生オリエンテーション特別昇給委員会
	8日 「人文学部のしおり」編集委員会
	11日 学部紀要委員会
	学部入学者選抜方法検討委員会
	16日 「人文学部のしおり」編集委員会
	教授会
	教授会(人事)
	17日 係長会議
	22日 学部図書委員会
	23日 「人文学部のしおり」編集委員会
	講座代表者会議と情報処理センター運営委員会委員との合同会議
	学部予算委員会

学部学生生活委員会
28日 学部予算委員会
30日 「人文学部のしおり」編集委員会
教授会
教授会（人事）

教 育 学 部

5月10日 附属学校運営委員会
学部自己点検評価委員会
11日 人事委員会
学部予算委員会
17～18日 日本教育大学協会北陸地区会評議員会
（於：信州大学）
18～19日 附属小学校教育研究発表会
19日 学部教務委員会
教授会
人事教授会
20～21日 日本教育大学協会北陸地区会技術教育部門研究協議会（於：牛岳ユースハイランド）
25日 入学者選抜方法検討委員会
学部学生生活委員会
26日 学部自己点検評価委員会
第39回附属学園合同運動会
29日 全国国立大学附属学校連盟正・副校園長会総会・校種別部会（於：お茶の水女子大学）
30日 全国国立大学附属学校連盟・連合会合同会
（於：お茶の水女子大学）
31日 大学院設置準備委員会
学部職業補導委員会
6月2日 学部動物実験委員会
人事教授会
教授会
4日 日本教育大学協会評議員会（於：KKR東京竹橋）
10～11日 課程認定大学実施視察
11日 平成5年度特殊教育就学奨励費交付金事務担当者会議（於：国立教育会館）
16日 学部教務委員会
教授会
人事教授会
16～17日 全国国立大学教員養成学部事務長協議会
（於：北海道教育大学札幌校）
18日 附属中学校教育研究協議会

22日 紀要編集委員会
教育学部附属教育実践研究指導センター運営委員会
24日 教育実習委員会
29日 入学者選抜方法検討委員会
30日 大学院設置準備委員会
人事教授会

経 済 学 部

5月10日 学部図書委員会（持ち回り）
12日 学部教務委員会
教授会
学生定期健康診断
14日 日本海経済研究所運営委員会
17日 大学院経済学研究科委員会小委員会
係長会議
18日 学部学生生活委員会
19日 夜間主コース運営委員会
大学院経済学研究科委員会
26日 学部教務委員会
人事教授会
教授会
6月2日 学部自己点検評価委員会
学部施設整備委員会
15日 学部学生生活委員会（持ち回り）
16日 大学院経済学研究科委員会小委員会
教授会
大学院経済学研究科委員会
18日 係長会議
21日 学部入学方法検討委員会
24～25日 平成5年度春季国立12大学経済学部・経営学部学部長及び事務長会議（於：香川大学経済学部）
30日 学部教務委員会
論集委員会
教授会

理 学 部

5月12日 教授会
理学研究科委員会
人事教授会
17日 学科主任会議

- 18日 学部学生生活委員会
 19日 理学研究科委員会
 26日 学部教務委員会
 学部図書委員会
 6月1日 第10回国立15大学理学部事務長会議
 (於：島根大学)
 2～3日 平成5年度国立15大学理学部長会議
 (於：島根大学)
 4日 学部施設委員会
 7日 学部施設委員会
 8日 学科主任会議
 16日 教授会
 人事教授会
 22日 ガラス工作室運営委員会
 23日 学科主任会議
 29日 学科主任会議
 30日 学部教務委員会
 学部情報化対策検討委員会

工 学 部

- 5月7日 学部学生生活委員会
 13日 講演会「先端技術社会における分析化学の役割」(講師：群馬大学工学部教授 赤岩英夫氏)
 14日 学部教務委員会
 学部運営委員会
 大学院運営委員会
 福光中学校生徒訪問
 19日 教授会
 工学研究科委員会
 24日 学部案内編集委員会
 学部図書委員会
 27日 学部入学試験検討委員会
 北陸信越工業教育協会富山県支部第1回幹事会
 27～28日 第43回国立大学工学部長会議・総会(於：電気通信大学)
 6月1日 学部運営委員会
 大学院運営委員会
 2日 教授会
 専任教授会
 講演会「情報産業とメカトロニクス」
 4日 学部教務委員会

- 学部スポーツ同好会総会
 7日 工学部案内編集委員会
 10日 学部入学試験検討委員会
 10～11日 北陸信越工業教育協会通常総会
 北陸信越地区国立大学工学部長懇談会
 (於：金沢大学)
 14日 学部運営委員会
 大学院運営委員会
 15日 学部教務委員会
 16日 教授会
 工学研究科委員会
 21日 工学部案内編集委員会
 23日 学部図書委員会
 24日 学部入学試験検討委員会
 25日 学部教務委員会

附 属 図 書 館

- 5月19日 係長連絡会
 27日 富山県図書館協会第62回定期総会(於：富山県立図書館)
 6月1日 第2回附属図書館商議会
 2日 ヘルン研究家 西村六郎氏ヘルン文庫視察
 8日 平成5年度国立大学附属図書館事務部課長会議(於：東京医科歯科大学)
 15日 係長連絡会
 21日 係長連絡会
 23～24日 第40回国立大学図書館協議会総会(於：徳島県郷土文化会館)
 29日 係長連絡会
 第3回附属図書館商議会

水素同位体機能研究センター

- 5月26日 タイ青年指導者見学

地域共同研究センター

- 5月13日 企業見学と産学交流会(於：㈱スギノマシン)
 14日 企業見学と産学交流会(於：㈱インテック)
 福光中学校生徒訪問
 18日 地域共同研究センター運営委員会
 24日 企業見学と産学交流会(於：日産化学工業㈱)
 26日 タイ青年指導者視察

- 27日 第1回大学院生教育講座
31日 経営者・研究者交流会第1回実行委員会
6月7日 企業見学と産学交流会（於：武内プレス工業）
8日 文部省関係者視察
10日 企業見学と産学交流会（於：日本医薬品工業
（株））
25日 第2回大学院生教育講座
企業見学と産学交流会（於：（株）タカギセイコー）
29日 地域共同研究センター運営委員会

保健管理センター

- 5月12日 定期健康診断
17日 X線間接撮影
19日 定期健康診断
24日 X線間接撮影
25日 X線間接撮影
26日 定期健康診断
27日 X線間接撮影
6月1日 胸部X線直接撮影
3日 胸部X線直接撮影
7日 胸部X線間接撮影
11日 胸部X線間接撮影
14日 胸部X線間接撮影
15日 胸部X線間接撮影
21日 胸部X線直接撮影

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24) 1755(代)